

目 次

本 編

目 次	頁
1 平成 22 年度 活動方針	2
平成 22 年度 重点目標	3
2 平成 21 年度 事業報告	
① 「はじめまして絵本」事業	4
② ビジネス支援事業	5
③ 地域資源の資産化	6
④ 「よむとす i n いだ」事業	7
平成 21 年度 読書推進活動	
◎読みきかせサービス ◎図書館体験プログラム	8
◎読みきかせボランティア講座 ◎講演会	9
読書推進活動 第 8 回図書館まつり	10
⑤ 図書館ボランティアによるサービスの充実	13
3 平成 21 年度 主な事業・行事	14
分館事業報告	16

資 料 編

1 沿 革	20
2 施 設	27
3 職 員	28
4 図書館協議会委員	28
5 利用案内	29
6 予算 (1)当初予算	29
(2)平成 21 年度 決算額一覧	30
7 図書館資料	
(1) 平成 21 年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数	31
(2) マイクロフィルム	32
(3) 視聴覚資料	32
(4) 障害者用資料	32
(5) 受入新聞および雑誌等逐次刊行物	33
(6) 特殊コレクション	33
8 平成 21 年度 貸出状況	
(1) 館外貸出館別利用状況	36
(2) 貸出年度別統計	37
(3) 年度別障害者用資料利用状況	39
(4) 平成 21 年度 利用が多かった本ベスト 5	39
(5) 利用統計数値 (サービス指針)	40
9 図書館関係団体	41

【平成 22 年度 活動方針】

「飯田市立図書館サービス計画」に基づき、読書活動支援の推進と迅速で多様な資料提供により、地育力向上に寄与する。

飯田市立図書館の基本方針及び図書館が目指す 6 か条

飯田市立図書館の基本方針として、だれでも・どこでも・いつでも利用できる市民の図書館として、市民の読書活動を支援し、豊かな人間形成に必要な場であるとともに、市民が求める資料を収集し、整備し、提供することに努めます。

また、飯田市立図書館は市民の課題解決等に役立てる施設・地域の情報提供拠点となるため、次の 6 か条を目指します。

- 1 図書館は市民の求める資料・情報を、的確に速やかに、提供します。
- 2 図書館は生涯学習の中核施設の一つであり、市民が身近に利用できるよう、サービスの拡大に努めます。
- 3 図書館は一人ひとりの暮らしを応援します。心豊かな文化を育む支援とともに、仕事や暮らしに役立つ資料・情報を提供します。
- 4 図書館は子どもたちの心と未来をひらきます。子どもたちの心豊かな成長と、健やかな子育てを応援します。
- 5 図書館は地域の歴史と文化の広場です。郷土資料を収集し、地域資産の保存と継承に努めます。
- 6 読書活動支援計画 [よむとす in いいだ] により、広く読書の普及に努めます。赤ちゃんからお年寄りまでが生涯を通じて本に親しめるよう、関係機関・団体と連携を図り読書環境づくりのための支援活動を推進します。

「飯田市立図書館サービス計画 VIII-2」より

平成 22 年度重点目標

- ◎ 図書館の資料及び情報の収集・保存・提供サービスの推進による市民の暮らしと仕事を支援する。
参考図書及び新聞雑誌・地域資料の充実・利活用を促進させ、地域住民の生活と仕事を支援する。
- ◎ 「はじめまして絵本」事業により、子ども読書、家庭読書を推進する。
家庭での読書推進のために、保健師・保育士・小中高等学校との連携を強め、家庭教育及び青少年の読書活動の支援を図る。
- ◎ 「よむとす in いいだ」（読書活動推進）事業により、国民読書年の浸透を図る。
関係機関との連携を図って、幅広い市民に図書館や本に親しんでもらう。
- 16 分館と地区公民館との連携により、サービスの向上を図る。
- 図書館ボランティアや市民との協働により、多様な図書館サービスを提供する。
- 郷土資料の整理保存を推進し、市民の利活用を図る。
所蔵資料の整理と提供を歴史研究所及び美術博物館と連携して推進することにより、市民への周知とより広く地域文化の保存・研究に寄与する。

平成 22 年度重点事業

- ①図書館サービス計画（平成 18～22 年度）の最終年度にあたり、次期サービス計画策定に向け検討を進める。
- ②中央図書館の耐震改修を行い、利用者の安全と利便性の向上を図る。
- ③長野県図書館大会を成功させ、国民読書年の浸透を図る。
- ④地域資料（地元新聞・雑誌）のデジタル化・マイクロ化をすすめ、地域資源の資産化を図る。
- ⑤コンピュータ更新に合わせ、周辺町村と共同して、図書館ネットワークシステムの構築を目指す。

「はじめまして絵本」事業

◆ はじめまして絵本事業の概要

昭和 58 年から保健課との連携により、毎月の 7 ヶ月児相談時に図書館職員が出向き、親子を対象に絵本の読みきかせや読書案内・本の紹介など行ってきた。平成 13 年 11 月から、当事業の充実を図るため、6 冊（平成 17 年度までは 5 冊）の絵本の中から 1 冊をプレゼントする事業を開始した。また、翌 14 年度からはフォローアップとして、2 歳児相談でも絵本に親しむことの大切さについての指導と実演を行う他、乳幼児学級や育児サークル等においても、積極的に読みきかせや読書案内・読書相談等を行っている。

平成 20 年度には、絵本をプレゼントすることにより、家庭での読書の推進や子育て支援にどの程度繋がっているか等、当事業の有効性、必要性及び今後の事業のあり方を明らかにするため、飯田市全保育園 3 歳児保護者を対象にアンケートを行った。

親子が絵本を通し共に楽しい時間を過ごすことにより、乳幼児は愛情に満ちた「ことば」を語りかけられて喜びを感じ、感性を磨き、豊かな想像力を育むと考えられている。それはまた、自己肯定や他者を信頼すること、コミュニケーション力の向上へとつながり、子どもが「生きる力」をつける手助けにもなる。

「はじめまして絵本」事業はそれらの礎となる事業として、継続の必要性が実証されたアンケート結果となったと理解している。

◆ 7 ヶ月児相談 5 会場実施（本庁・伊賀良・鼎・松尾・上郷）

【7 ヶ月児相談受診人数】

年 度	対 象 者	全会場受診者	受 診 率
平成 17 年度	965 人	944 人	97.8%
平成 18 年度	977 人	943 人	96.5%
平成 19 年度	989 人	944 人	95.4%
平成 20 年度	991 人	962 人	97.1%
平成 21 年度	923 人	915 人	99.1%

◆ 2 歳児相談 5 会場実施（本庁・伊賀良・鼎・松尾・上郷）

【2 歳児相談受診人数】

年 度	対 象 者	全会場受診者	受 診 率
平成 17 年度	1,108 人	1,002 人	90.4%
平成 18 年度	1,032 人	944 人	91.5%
平成 19 年度	952 人	847 人	89.0%
平成 20 年度	948 人	894 人	94.3%
平成 21 年度	973 人	899 人	92.4%

ビジネス支援事業



『地域や市民にとって役に立つ図書館』として「図書館を活用したビジネス支援サービス事業」を進めてきた。

図書館では、市民の暮らしやまちづくりに役立つ資料を収集し、情報の蓄積やサービス体制に加え、さらに情報を収集・閲覧できる環境を整備し、多様なレファレンス（調査・相談）に対応できるよう相談窓口の充実や、関係機関と連携した、ビジネス支援ネットワークの確立を目指している。情報や知識等の側面から市民の経済的自立、地域経済活性化に支援・貢献ができる図書館としての機能の充実を図っていく。

【主な取組の内容】

1. 蔵書の選定・充実

- ・現在ある資料を最大限利用しながら、社会科学・技術・産業関係の図書の選定を進め、経済・産業雑誌、新聞の充実を図る。
- ・村橋勝子氏(社史研究家)より、21年度は全国の社史92冊(合計390冊)の寄贈を受け、社史コーナーを設け、貸出・閲覧を行なっている。資料の活用に必要な件名のデータ入力を順次すすめる。
- ・毎月、1つのテーマを設けて、中二階にテーマ本の展示をし、資料の紹介をしている。

2. 「調べもの相談窓口」の充実

- ・2階カウンターの、「調べもの相談窓口」に職員を配置し、各種レファレンスに対応している。
- ・検索性データベース「官報情報検索サービス」「G-Search データベースサービス」の活用

【21年度 相談件数】

レファレンス総数	3,662 件
調べもの相談窓口	1,691 件

3. パスファインダーの作成

パスファインダーとは、ある特定の事柄に関して資料・情報を収集する際に、関連する資料やその探し方を提供するツール。郷土資料、児童資料を中心に 30 件作成。引き続き作成し、その活用方法についても検討していく。

4. メールによるレファレンスの受付

インターネットを使い資料などの検索をする利用者も増えており、メールによる調査等の受付を始める。HPに案内を掲載。

5. 講演会等の実施

①『図書館 de ジョブカフェ ～就職活動支援セミナー～』

7月9日(セミナー)・16日(個人相談会)の開催 参加者15名

講師：キャリアコンサルタント 園原成和氏

夜間開館にあわせ、受講者の利便性を図る。ジョブカフェによるセミナーは若年者対象であるが、対象年齢を設けず、幅広い年齢層の参加があった。連携により、双方のPRとなった。

②『林史典 講演会』 7月25日 参加者110名

【日本語と漢字—その歴史と現在—】と題して、林史典氏(文化審議会委員、飯田高校OB)に講演をしていただく。

6. PR活動 図書館ホームページの充実・パンフレットの配布など



地域資源の資産化

地域の貴重な歴史文化資源を市民が利活用でき、また、飯田の文化遺産に触れることによりふるさと意識の醸成を促進し、地域の文化資源の利活用を促進できるよう、下記の 2 つの事業を緊急雇用創出事業として、県の交付金を受け実施した。

【郷土資料保存事業】

紙の劣化が著しい地元新聞「信州日報」と「南信州」のマイクロフィルム化を、昨年度に引き続き実施。さらに、「南信州」はマイクロフィルムからデジタル化を行い、画面上での縮小拡大や、日付およびキーワードでの検索を可能とした。これにより、市民の暮らしと研究を支援する有効なツールとなった。

1 郷土新聞のマイクロフィルム撮影

種 別	頁 数	撮 影
南信州	平成 17 年 7 月～21 年 9 月	25 リール
信州日報	平成 8 年 1 月～21 年 9 月	57 リール

2 マイクロフィルムのデジタル化

種 別	頁 数	スキャニング数
南信州	昭和 29 年 10 月～平成 21 年 9 月	115,421 コマ

3 盗難防止装置用テープ装備

貴重書の盗難防止のために磁気テープを貼り、(ゲート設置は耐震工事終了時)市民の財産を守る。

装備対象資料	装備冊数
郷土資料及び参考図書	約 43,000 冊

【寄贈資料整理事業】

貴重な寄贈資料を整理し、市民が利活用できるようにする。

- 小林正之文庫 (竜丘出身 早稲田大学名誉教授) 保存場所：上郷図書館 書庫
図書 1,269 冊 雑誌 1,295 冊
- その他寄贈本 保存場所：上郷図書館 書庫
図書 970 冊
- 浪の人文庫 (竹村浪の人 寄贈一般書) 保存場所：中央図書館 書庫
図書 581 冊
- 三橋氏他寄贈本 保存場所：中央図書館 書庫
図書 1,295 冊

合計 5,012 冊

「よむとす i n いだ」 事業

平成 14 年 4 月から今日まで行ってきた読書活動推進事業のすべてを「よむとす i n いだ」と名づけ、保健課との協働事業”いきいき教室”をはじめとして、あらゆる年代層に向け図書館利用体験・図書館資料体験・図書館業務体験や児童・生徒への講座・読書団体への支援などを行い、読書活動推進・図書館利用促進を図る事業。

主な取り組み内容

- 1 図書館業務体験（中・高・大学生等の職場実習）…89 件 延べ 174 人
キャリア教育の一環として、次代を担う生徒・学生に貴重な体験できる場として好評。
- 2 図書館利用体験（図書館見学と利用説明会）…95 件 延べ 2,231 人
自主的に調べ考える力・豊かな本との親しい出会いのために学校と連携して実施。
- 3 図書館資料展示会・解説会等（貴重資料展）…3 件 延べ 640 人 図書館まつり参照
地域の貴重な資料を多くの市民に提供し、ふるさと意識の醸成にもつなげるよう実施。
(1) 地域史研究集会にちなみ、8 月「伊那谷の戦争」展を 3 館でミニ展示を行う。
10 月「郷土を守り育てた人々」として伊那谷の鉄道敷設や農業用水の開発、水引や凍り豆腐に関った郷土の産業偉人 7 人を取り上げ、先人の労苦や功績を多くの方に紹介する。
また、飯田高等学校図書委員会の研究「いなだにだに」をコラボレーション展示する。

「伊那谷の戦争」展

展示「郷土を守り育てた人々」 ↓→



- (2) 第 1 回史料展『絵図と史料からみる上飯田の江戸時代』 平成 21 年 4 月 25 日～30 日
歴史研究所で新規購入した「上飯田村田畑山林地引絵図」3 枚と図書館所蔵の「松川入り絵図」「松川黒川大島野底 入山絵図」や上飯田村検地帳などを展示。延べ 245 人が来場。
 - (3) 第 2 回史料展『史料から見る大宮諏訪神社と東野の歴史』 平成 22 年 3 月 23 日～25 日
お練り祭りの時期に合わせ、「大宮諏訪神社縁起」と絵図及び関係文書の展示と解説会を歴史研究所と連携し開催。竹之内研究員による解説会も 2 回開催。延べ 129 人の方が来場。
脇坂氏の宗教政策から大宮諏訪神社や当時の飯田を知る貴重な機会とすることが出来た。
 - (4) 信州図書館文化講座 平成 22 年 2 月 27 日（土） 長野県図書館協会と共催事業 60 名
第 1 講座 演題「幕末・維新期の女性勤皇家松尾多勢子」
講師 山内尚巳先生 元県史編纂委員
第 2 講座 演題「伊那谷の国学者たち～幕末・維新期に活躍した人々とその業績～」
講師 林 登美人先生 前高森町歴史民俗資料館館長
- 4 図書館まつり参加者（映画会・読書会・講演会など） 10 件 延べ 1,510 人
本や図書館に親しみ読書の輪を広げるために、市民と協働で実施。
 - 5 児童・青少年・高齢者・障害者及び多文化サービス事業を実施。
図書館主催各種行事に延べ 17,863 人の人が参加し、本の楽しみを触れる機会を持った。

◎読みきかせサービス（中央・県・上郷図書館実施分）

	館内実施		館外実施	
中央図書館	お楽しみ会 育児サークル等 小学校 その他	37回 (620人) 7回 (180人) 15回 (446人) 2回 (36人)	7ヶ月乳児相談 (旧市・伊賀良・松尾) 2歳児相談 (旧市・伊賀良・松尾ブロック) その他(乳幼児学級ほか)	36回 (539人) 25回 (570人) 12回 (261人)
県図書館	お楽しみ会 親子お楽しみ会 育児サークル等 幼・保育園読み聞かせ 県小・中学級招待 その他	32回 (254人) 8回 (109人) 2回 (50人) 40回 (698人) 14回 (428人) 2回 (50人)	7ヶ月乳児相談(県) 2歳児相談(県) 保育園お話し会 乳幼児学級等 いきいき教室	12回 (179人) 10回 (191人) 40回 (1381人) 4回 (142人) 2回 (18人)
上郷図書館	定例お話し会 特別お楽しみ会 育児サークル等 上郷小学校お話し会 絵本・児童書講座 その他	51回 (240人) 3回 (150人) 6回 (130人) 4回 (123人) 16回 (139人) 1回 (15人)	7ヶ月乳児相談(上郷) 2歳児相談(上郷ブロック) 保育園訪問 子育てサークル等 浜井場小朝読書 いきいき教室	12回 (197人) 9回 (138人) 26回 (1679人) 4回 (74人) 6回 (203人) 14回 (185人)
合計	240回 (読み聞かせ体験者延べ 3,668人)		212回 (読み聞かせ体験者延べ 5,757人)	

◎図書館体験プログラム

目的：図書館と資料を理解してもらうための、図書館体験プログラムを推進する。

各種プログラムの体験を通じて、図書館により親んでもらい、読書を楽しみ、生涯にわたる図書館利用の基礎をつくる。

対象：小学生・中学生・大学生・一般

(単位：人)

プログラム名	中央		県		上郷		合計	
	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数	件数	延べ人数
資料整理業務体験	30	64	8	20	12	16	50	100
利用サービス業務体験	19	38	8	20	12	16	39	74
図書館利用体験	24	662	56	1,176	15	393	95	2,231
障害者サービス体験	7	11	6	8	0	0	13	19
特殊資料ミニ講座	3	72	0	0	0	0	3	72
子どもの本ミニ講座	0	0	2	50	0	0	2	50
合計	83	847	80	1,274	39	425	202	2,546

◎読みきかせボランティア講座

当講座では、読みきかせボランティアの養成及びスキルアップのための支援を行っている。

読みきかせボランティアにより、多くの幼稚園児・小学生・乳幼児などへ読みきかせを行い、児童の読書活動普及の推進を図る。

- 1 目的：子どもの集団に向けての読みきかせの活動をされている方、勉強を始めている方を対象とし、個々の読みきかせのスキルアップを目指す中級講座とした。
- 2 会場：飯田市立上郷図書館 2階 視聴覚室
- 3 受講者：23名（定員25名）
- 4 テキスト：『えほんのせかいこどものせかい』（松岡享子／著）

	日時	内容	出席人数
①	6月19日（金）10:15～12:15	子どもに読みきかせをするということ	19名
②	7月11日（土）10:15～12:15	元上郷図書館長 下沢洋子さん講演会①	20名＋受講者以外20名
③	7月17日（金）10:15～12:15	絵本の読みきかせ方	21名
④	8月21日（金）10:15～12:15	本の選び方	17名
⑤	9月5日（土）10:15～12:15	元上郷図書館長 下沢洋子さん講演会②	17名＋受講者以外14名
⑥	9月18日（金）10:15～12:15	プログラムの立て方	19名
⑦	10月2日（金）10:15～12:15	まとめ	17名

計 延べ164名

◎講演会（講演会主催：子どもの本研究会）

子どもの読書普及活動として、子どもの本研究会による講演会を行なった。読みきかせボランティア、教師や保育士、子どもと本に関心のある方、講師の絵本に魅せられたお母さんたちなどが受講。

小風さち講演会 参加者 88人

演題「おはなしが生まれるまで

～“わに”と“はち”と“きかんしゃ”と～

7月4日（土）10:00～12:00

人気の絵本「わにわに」シリーズなど、多数の絵本の文を手がけ、絵本の翻訳もされている講師から、おはなしが誕生までの過程、込められた思いなどをお話いただいた。



第9回 図書館まつり

- 1 実施期間 平成21年8月25日～11月14日
- 2 実施会場 中央図書館・鼎文化センター
- 3 内容と実績

実施項目	開催日時	内 容	当日入場者
文学連続講座 樋口一葉 「われは女なりけるものを」 講師：熊谷裕子氏 場所：中央図書館2階研修室	8月25日(火) PM1:30～3:30	映画会に先立ち、「にぎりえ」などの原作者である樋口一葉についての講演会を、文学連続講座(飯伊婦人文庫主催)の一環として実施した。	51人
映画会「なつかし名画 トクトクまつり」 (優秀映画鑑賞推進事業) 『にぎりえ』『あすなろ物語』 会場：鼎文化センター	8月30日(日) PM1:00～3:10 PM3:20～5:10	樋口一葉原作の短篇小说「にぎりえ」(ほか全3話)は水木洋子脚色、今井正監督作品。井上靖原作の「あすなろ物語」は黒沢明が脚本を担当。黒沢の助監督を長年務めた堀川弘道の監督デビュー作で3部構成。共に名作文学を映画化しており、オムニバス構成の作品。	329人 チケット販売数 412枚
講演会の事前勉強会 「日夏耿之介を知る会」 講師：松岡耿介氏・織田学芸員 会場：中央図書館2階研修室 「加島祥造と日夏耿之介 の詩を楽しむ会」 講師：加嶋裕吾氏 (祥造氏ご子息・加嶋事務所) 会場：中央図書館2階読書室	9月6日(日) PM1:30～4:30 10月31日(土) PM1:30～4:00	加島祥造講演会で日夏耿之介との関わりについて語ってくださることから、日夏の人と作品についての理解を深める会や日夏と加島祥造の詩を鑑賞し楽しむ会など、事前勉強会を2回実施した。 加嶋事務所の協力で、新聞社を集めて一連の事業について記者会見を実施、地元新聞に特集記事を掲載していただくなど、大々的に飯田市名誉市民「日夏耿之介」と加島祥造講演会をPRした。	56人 70人
加島祥造講演会 「加島祥造の詩の世界」 ～私が日夏耿之介の弟子として生き残っている唯一人だと思う～ 講師：加島祥造 (駒ヶ根市在住、 詩人・翻訳家・墨彩画家) 会場：中央図書館2階読書室 *講師の希望(100人程度の会場で)により図書館で実施。 チケット120枚発売後10日ほどで完売となる。	11月7日(土) PM2:00～4:00	加島氏は早稲田大学在学中に日夏耿之介に師事、多大な影響を受けながら、戦争体験などを経て方向性を変えていった経緯、日夏の人間性や芸術性などについて、今まで一切語ってこなかった日夏と自分との関係について、飯田でなら語れるかもしれないと講演会に臨んだ。 伊那谷の大自然の中で詩や墨彩画を描き、英米文学と漢詩を読み、老子の教えとともに生きる加島氏は、親しみとユーモアのある口調で日夏についての思い出を率直に語った。ご高齢のため途中で休憩を挟んだが、話しやすい空間が作られていたと後でご子息が語られたように、加島氏と、講演会を待ち望んでいた聴衆とが一体となった講演会であった。	120人
加島祥造墨彩画展 会場：中央図書館2階研修室	11月3日(火) ～11月13日(金)	加嶋事務所のご好意により、加島祥造の墨彩画を20点ほどお借りして展示。研修室の飾り付けから片付けまで全面的なご支援をいただいた。実行委員やボランティアなどの協力もあり、大勢の方に加島祥造の詩と墨彩画の世界を楽しんでいただけた。	412人

実施項目	開催日時	内 容	当日入場者
飯田・下伊那読書会交流会 会場：中央図書館2階読書室	9月26日(土) PM1:30～4:30	第3回目となった今年度は、松川3、高森5グループと、豊橋・中津川両市からの参加もあり、20のグループが交流した。飯伊婦人文庫の吉田委員長が「読書会交流会からみてきたこと」と題して提案発表、松岡正剛著『多読術』から～音読から黙読へ～を群読した後、テキストを中心にした話し合いをした。	30人
資料展 「郷土を守り育てた人々」 展示説明会 (展示担当者7人) 会場：中央図書館2階研修室	10月24日(土) ～10月31日(土) 10月24日(土) PM2:00～3:00	明治～昭和初期にかけて郷土の発展に尽力した7人の先人(山本長左衛門・竹村順一・櫻井文七・坂田亀吉・伊藤大八・伊原五郎兵衛・川村カネト)を取り上げた。7人の人物像と功績について、図書館が所蔵している資料をもとにパネルにまとめ、書簡などの生資料や図書館蔵書とともに展示した。	256人 10人
夢のコラボレーション 会場：中央図書館2階読書室	11月14日(土) PM1:30～4:00	文章講座OBの作品を「声の輪」会員の朗読で楽しみ、地元の人々の生活に根ざした情感あふれる世界に浸った。今回は、朗読者に加え作者も登壇して、花を添えた。	53人
合 計			1,387人

4. 前回までの内容(概略)

第1回(平成13年11月30日～12月7日)

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画	パネル展
講師：谷川俊太郎 斉藤 惇夫 テーマ：「詩の世界 子どもの世界」	堀家蔵書より 「本草図譜」 「三国通覧図説」	作品展(8団体) 発表会 ・声の輪「こころのはあもにい」 ・婦人文庫「わらべうたを歌う」	「マザーグースの わらべうた」

第2回(平成14年12月6日～8日) / 映画会(12月7日)「天国と地獄」「野菊の如き君なりき」「生きる」

講演会	特殊コレクション展	ミニ講座	ミニ講座
講師：小澤俊夫 テーマ：「昔話が語る 子どもの姿」	堀家蔵書より 「主図合結記」「広恵濟急方」 「解体鍼要」「有用植物図説」 「尚古鑑色一覽」	手作り絵本の会製本講習 「あなただけの本を 作りませんか」	文章講座 「楽書のすすめ」

第3回(平成15年12月2日～12月7日) / 映画会(10月25日)「血槍富士」「浮雲」

講演会	特殊コレクション展	ミニ講座	中学生との読書会
講師：子安美知子 テーマ：「子どもの心を育てるシュタイナー教育」	堀家蔵書より 「都名所図絵」「古今名物類徒」「集古十種」	手作り絵本講習会 前年好評につき、 第2回目実施	夏目漱石「坊ちゃん」を 世代を超えて読み合う 中学生22人、一般33人参加

第4回(平成16年11月30日～12月5日) / 映画会(9月3日)「伊豆の踊り子」「二十四の瞳」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画	高校生との読書会
講師：子安美知子 テーマ：「頭で読むこと 心で読むこと」	堀家蔵書より 「日本名山図絵」「草木育種」 「庭造かき根一覽」「ももしき」「禁裏新御殿造営記」	コラボレーション 文章講座・紅まんさくの作 品を声の輪会員が朗読する 新しい試み	中学生との読書会で新境地を開 いた婦人文庫が高校生と「破戒」 を読む。高校生6人を含む37人 が参加

第5回(平成17年11月26日～12月4日) / 映画会(9月3日)「キューポラのある町」「けんかえれじい」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：藤原正彦 テーマ：「祖国とは国語」 ～日本の再生は 国語力にかかっている～	堀家蔵書より「海上砲術全書」 「かさねのいろあひ」「温泉考」(新) その他過去に展示した「本草図譜」等 3点を中央で、「都名所図絵」を鼎で、 「解体鍼要」等2点を上郷でそれぞれ 分散展示	ミニ講演会 特殊コレクションについてのミニ講演会を利用者団体の 希望により企画、滝本係長が講演した ※過去に展示した特殊コレクションの中から5点を選び 小学生にもわかりやすく解説を加え図書館体験プログ ラムとしての取り組みを3館で行った

第6回 (平成18年11月25日～12月3日) / 映画会 (9月2日) 「近松物語」「雨月物語」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師に河合隼雄氏を予定していたが、病気療養のため中止。 河合氏の著作『こころの扉を開く』の読書会を3回実施した	堀家蔵書より 文房具の図録集「古図類従」(新) 「古今名物類従」「集古十種」	コラボレーション 「文章講座」の作品が、練習を積み重ねた「声の輪」の朗読により、更にすばらしい文章となって心に染み入った ミニ講演会 「飯田図書館のお宝とあゆみ」と題し、瑠璃寺住職(元図書館係長)のお話を聞いた

第7回 (平成19年11月24日～12月2日) / 映画会 (9月8日) 「また逢う日まで」「野火」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：柳田邦男 (ノンフィクション作家) テーマ：「読むことは生きる力に」 ～死にたくなったら 図書館に行こう～	市制施行70周年記念事業 「飯田の講師 竹村浪の人」 ・浪の人の思い出を語る会 ・浪の人展示説明会 ・『竹村浪の人講談集Ⅰ・Ⅱ』出版 ・『竹村浪の人講談集』CD出版	読書会 3回 テキスト：『「人生の答」の出し方』 柳田邦男 著 第1回 飯田下伊那読書会交流会 飯伊婦人文庫編『みんなとだから読めた』の出版を記念して、聞き書きした幾つかの読書グループから発表。

第8回 (平成20年9月21日～11月29日) / 映画会 (9月6日) 「怪談」

講演会	特殊コレクション展	利用者団体企画 等
講師：堀井正子 テーマ：「銀河鉄道の夜」 ～ジョバンニの切符と カンパネラ切符～ *中央図書館にて開催	三遠南信地域資料展(巡回展) 「その後の風林火山」 「飯田下伊那の通信遺産 —信玄の狼煙台—」 ・展示説明会 ・歴史講座 「武田今川徳川の三つ巴の戦い」 講師：鈴木博 氏 「長篠の戦いは 信玄・信長の金と銀の戦い」 講師：横山良哲 氏 ・実践報告「三遠南信の交流について」 発表者：ゆかいな仲間たち	読書会 1回 テキスト：『銀河鉄道の夜』 宮沢賢治 著 第2回 飯田下伊那読書会交流会 8グループが参加し、地道な活動で「元氣」がもらえる 意義と未来へ繋げる大切さを確認した。 夢のコラボレーション 文章講座OBの作品を「声の輪」会員の朗読で楽しむ。 地元の人々の生活に根ざした情感あふれる世界に浸った。



H21.10.31 「加島祥造と日夏耿之介の詩を楽しむ会」

H21.11.7 加島祥造講演会「加島祥三の詩の世界」



図書館ボランティアによるサービスの充実

1. ボランティア募集の経過

図書館が市民の多様かつ高度なニーズに対応し、利用しやすい図書館づくりを行うためには、市民の参画と協働が必要となります。

20 年度に募集したボランティアに、それぞれの活動内容に応じて活動していただいた。

- ・古書整理ボランティア
- ・環境整備ボランティア
- ・イベントボランティア
- ・病院ボランティア

2. 活動内容

【古書整理】 のべ144人

○上郷有線テープ整理（中央図書館）

リール 962巻、ビデオ29本、8ミリフィルム24巻、カセットテープ190本

○古書整理（中央図書館）

絵画資料の目録作成、和書の整理

【環境整備】 のべ110人

草花の植栽、除草作業、みずやり（中央図書館・鼎図書館）

【イベント】 のべ30人

「絵図と資料から見る上飯田の江戸時代」4月25日～30日（中央図書館）

「郷土を守り育てた人々」10月24日～31日（中央図書館）

「加島祥造 墨彩画展」11月3日～13日（中央図書館）

「折り紙教室」12月19日（中央図書館）

「史料からみる大宮諏訪神社と東野の歴史」3月23日～25日（中央図書館）

「七夕かざりを作る」8月1日（鼎図書館）

【病院ボランティア】 のべ35人

月に1回、リユース本を市立病院の病棟ダイルームへの配置・図書 of 整理

768冊を配本



『絵図と史料からみる
上飯田の江戸時代』
イベントボランティアが
受付・補助

平成21年度 主な事業・行事・その他

	中央図書館	県図書館
4月	子ども読書の日関連事業(4/15～5/10) 婦人文庫ふるさと探訪(4/21) 上飯田絵図展(4/25～4/30) 声の輪総会(4/27)	子ども読書の日特別おたのしみ会(4/16・25) 県幼稚園おはなし会開始(4/17～)
5月	飯田下伊那図書館協会総会(5/14) 廃棄図書(児童書)内覧会(5/22) 婦人文庫中津川読書交流会(5/25)	県声のボランティア総会(5/16)
6月	手作り絵本巡回展(6/13・14) 広域サービスPJ(6/17) 第1回図書館協議会(6/19) 東御市視察(6/19) 婦人文庫総会(6/21)堀井正子先生 文学連続講座(6/27)吉澤真人先生	県小学校学級招待開始(6/2～) パステル和アート(6/27) 県声のボランティア利用者交流会(6/27)
7月	婦人文庫豊橋読書会交流会(7/3) 図書館deジョブカフェ(7/16) 文学連続講座(7/21) 林史典講演会(7/25) むしむしワークショップ(7/26)	工作教室「牛乳パックでくるまをつくろう！」(7/18) 県声のボランティア研修会(7/11)
8月	美博まつり(8/1・2) 人形劇フェスタ(8/6～8/9) 文学連続講座(8/25)熊谷裕子先生 なつかし名画トクトクまつり(8/29)	七夕おたのしみ会(8/1)
9月	声の輪研修会(NHKセミナー)(9/15・16) 第9回図書館まつり ・読書会交流会(9/26)	県声のボランティア研修(9/12)
10月	・特殊コレクション展(10/24～10/30) ・加島と日夏の詩を楽しむ会(10/31)	
11月	・加島祥造墨彩画展(11/3～11/13) ・加島祥造講演会(11/7) ・図書館まつりコラボレーション(11/14) 第2回図書館協議会(11/13)	ふるさと県ふれあい文化祭(11/15・16)
12月	声の輪交流会(12/4) 干支の折り紙教室(12/19)	
1月		
2月	蔵書点検臨時休館(2/16～19) 第3回図書館協議会(2/25) 信州図書館文化講座(2/27)	県声のボランティア研修(2/13) 蔵書点検臨時休館(2/23)
3月	スペシャルお楽しみ会(3/6) 獅子頭工作教室(3/13) 大宮諏訪神社史料展(3/23～3/25)	おり紙教室「おひなさまを折ろう」(3/6)
定例行事	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会(毎週土曜) ・7カ月児相談での絵本の話(本庁・伊賀良ブロック・松尾ブロック) ・2歳児相談での絵本の話(本庁・伊賀良ブロック・松尾ブロック) ・育児サークル等お話し会(年19回) ・コンピュータシステム定例会(4ヶ月1回) ・朗読奉仕養成講座(月1回) ・婦人文庫運営委員会・読書会各種(月1回) ・子どもの本研究会(月1回) ・声の輪学習会(月3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会(毎週土曜) ・親子おたのしみ会(毎月第3木曜) ・7カ月相談での絵本の話(県ブロック) ・2歳児相談での絵本の話(県ブロック) ・県小学校学級招待(全学年) ・県幼稚園(月2回) ・殿岡保育園(年6回) ・県東保育園(年6回) ・県幼稚園親子おはなし会(年3回) ・育児サークル等(年6回) ・県声のボランティア例会(年8回) ・『としょかんの窓』(月1回発行)

上郷図書館	分館	職員研修
子ども読書の日特別おはなし会(4/22)		
子どもの本の会(5/14) 絵本の会(5/21)	第1回分館長主事会(5/7) 「子ども読書の日」関連事業各種(4/18～5/23)	デイジー信州研修会(5/13)塩尻2名 公共図書館初任者研修会[県立図書館](5/28)長野4名 県公共図書館長会議(5/30)
子どもの本の会(6/11) 絵本の会(6/18) 読みきかせボランティア講座(6/19) 読みきかせボランティアの会代表者会(6/23)	森林講座・伊賀良(6/25)	県初任者研修会[県立図書館](6/26)長野4名 県図書館講座(6/24)塩尻2名
子どもの本の会(7/9) 読み聞かせボランティア講座(7/11,17) 絵本の会(7/16) 夏休み工作教室「きりがみかざり」(7/29)	第1回分館研修会(7/10)	文献史料活用講座(7/2) 県図書館協会研修(7/3) コンピューターデモ(7/24) コンピューターシステム視察(7/10)4名
読みきかせボランティア講座(8/21)	木の工作・伊賀良(8/1)	
読みきかせボランティア講座(9/5,18) こどもの本の会(9/10) 絵本の会(9/17)	森林講座・伊賀良(9/18)	子どもの本研究会(9/4)
読みきかせボランティア講座(10/2) こどもの本の会(10/8) 読みきかせボランティアの会研修会(10/9) 絵本の会(10/15)	分館の今後の在り方について公民館長との協議(10/8)	県図書館協会ステップアップ研修(10/5) 県図書館大会(10/17)松本7名
こどもの本の会(11/12) 上郷小学校調べ学習(11/4,6,17,20)	第2回分館長・主事会(11/24) 木の工作(伊賀良文化祭11/21)	文献史料保存活用講習会(11/6)2名
こどもの本の会(12/10)		障害者サービス研修会(12/2) 図書館建築研修会(府中市)(12/4)
こどもの本の会(1/14) 絵本の会(1/21)	第2回分館研修会(1/29)	
こどもの本の会(2/12) 絵本の会(2/18) 蔵書点検臨時休館日(2/24,25)	公民館長へ地区意見の取りまとめ依頼(2・10)	
こどもの本の会(3/11) 読みきかせボランティア代表者会(3/12) 絵本の会(3/18) 春休みわくわくおはなし会(3/24)		
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会(毎週火曜・水曜) ・7ヶ月相談での絵本の話(上郷ブロック) ・2才児相談での絵本の話(上郷ブロック) ・保育園おはなし会 上郷東(年5回) 上郷西(年6回) 上郷北(年5回) 上郷南(年5回) 座光寺(年5回) ・浜井場小学校朝読書(年4回) ・いきいき教室お話し会(年14回) ・育児サークル等お話し会(年10回) ・文章講座(月1回) ・図書館だより発行(小学生4回/中学生2回/高校生2回/一般家庭年3回発行) 	<ul style="list-style-type: none"> ・各分館係会(随時) ・各分館おたのしみ会(随時) ・分館だよりの発行(随時) ・公民館との共催行事(随時) ・公民館地区文化祭参加 ・公民館乳幼児学級 ・保育園おはなし会 ・分館運営方針の地域協議(7月～9月)16回 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童サービス研修会(随時) ・レファレンス研修会(随時) ・図書館サービス研修会(随時) ・郷土資料研修会(随時)

平成21年度 分館事業報告

* [公]は公民館・地区との共催行事で読みきかせ等をしたもの

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等回数	その他
	回数	日付	内 容		人数		
羽 場	8	4/25	こども読書の日	かみしばい など	3	427	7
		5/12	0～1歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	41		
		5/	3歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	32		
		5/	2歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	6		
		7/4	お楽しみ会	ゲーム・風船運び 等	30		
		11/7.8	文化祭〔公〕		180		
		12/5	クリスマス会	飯田女子高人形劇、手遊び、ジャンボ紙芝居、人形劇	87		
		2/13	いいものを作ろう	バレンタインポップアートカードを作ろう	48		
丸 山	15	4/25	こども読書の日	読み聞かせ、紙芝居、折紙	16	456	7
		5/19	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	48		
		7/4	七夕お楽しみ会	(幼児学級との交流)読み聞かせ、パネルシアター、飾りつけ	36		
		10/22	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	23		
		11/7	文化祭お楽しみ会〔公〕	読み聞かせ、パネルシアター、工作 他	33		
		月1回	丸山保育園	読みきかせ	300		
東 野	5	5/9	こども読書の日	おはなし会、工作	15	128	8
		5/27	3歳児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	40		
		7/4	七夕祭	本の紹介、読みきかせ、飾りづくり、短冊	35		
		2/6	カルタ会	本の紹介、読みきかせ、カルタ	20		
		2/27	けん玉大会	本の紹介、読みきかせ、けん玉	18		
座光寺	1	7/11	おたのしみ会	読みきかせ、パネルシアター、おりがみ、おやつ(ゼリー)作り	25	25	2
松 尾	4	4/25	おはなし広場	(子ども読書の日)読みきかせ、かみしばい	14	330	7
		5～3月	乳幼児学級〔公〕	(9回)	133		
		7/4	七夕	読みきかせ、かみしばい、ペープサート、工作	70		
		2/6,7	文化祭〔公〕		113		
下久堅	14	5/23	常信院の龍に会いに行こう	読み聞かせ、紙芝居、龍の話など	41	391	5
		5/26	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	40		
		7/25	科学実験教室		20		
		12/19	クリスマス会		90		
		月1回	放課後子ども教室	読みきかせ	200		
上久堅	13	4/22	こども読書の日	読みきかせなど	20	388	9
		4/22	上久堅小	読みきかせ	55		
		8/6	人形劇を見に行こう〔公〕	人形劇場へ行く	30		
		11/1	文化祭〔公〕	工作など	60		
		2/3	上久堅小	読みきかせ	55		
		月1回	上久堅保育園(8回)	読みきかせ	168		

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等	その他	
	回数	日付	内 容	人 数	計			
千代	6	4/22	(栄)おはなしの会	読み聞かせ	19	168	3	保育園のおさんぽ時に開館 (毎月1回)
		4/24	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	28			
		4/25	おはなしの会	読み聞かせ	32			
		6/27	おたのしみ会	読み聞かせ、かみしばい	34			
		7/8	(栄)おたのしみ会	読み聞かせ、かみしばい	16			
		12/19	クリスマス会	読み聞かせ、工作、うた	39			
龍江	7	5/2	おはなしの会		15	264	13	11/7 文化祭
		7/4	作るお楽しみ会		33			
		7/15	おはなしの会	下沢洋子先生による	65			
		10/21	おはなしの会	中央館職員	65			
		11/7	文化祭〔公〕	おはなしの会	17			
		2/6	かるた会〔公〕		38			
		3/6	春のお楽しみ会		31			
竜丘	20	4/25	おたのしみ会	読みきかせ など	24	1126	14	小学校参観日開館 7回
		6/29	1年生の図書館見学	読みきかせ、図書館案内など	61			
		7/11	おたのしみ会	絵本、紙芝居、パネルシアター、工作	45			
		7/27	0歳児学級〔公〕	読みきかせ、手あそび、図書館案内など	30			
		11/7	文化祭〔公〕	絵本、パネルシアター、おりがみ、工作	54			
		11/8	〃	〃	48			
		11/	よちよち学級〔公〕	読みきかせ、手あそび など	11			
		12/18	本を読むことに親しむ	(大人向け)声に出して本を読む	140			
		1/25	0歳児学級〔公〕	読みきかせ、手あそび など	11			
		2/	カルタ会		22			
		月1回	保育園	おはなし会(10回)	680			
川路	5	5/23	子ども読書の日	おはなし会	25	106	11	
		7/25	七夕おたのしみ会		10			
		8/6	人形劇観劇ツアー〔公〕		32			
		2/13	川路かるた会〔公〕		28			
		3/20	春のお楽しみ会		11			
三穂	61	4/15	図書館探検、お話の会	読みきかせ、図書館案内など	40	2159	16	2/7 文化祭
		5/26	三穂小	おはなしの会	90			
		6/22	いきいきリハビリ	おはなしの会	12			
		6/27	お楽しみ会	スライム、絵本	46			
		7/21	いきいきリハビリ	おはなしの会	11			
		8/7	人形劇フェスタ〔公〕		48			
		8/9	夏祭り〔公〕	ストーンアート、スライム、絵本	60			
		1/22	三穂小	おはなしの会	90			
		2/27	お楽しみ会	絵本、とんとんすもう	13			
		3/12	いきいきリハビリ	おはなしの会	12			
		4回	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	92			
47回	保育園	おはなし会	1645					

分館名	お楽しみ会、行事など					係会等 回数	そ の 他
	回数	日付	内 容		人数		
山 本	131	4/18	子ども読書の日	春いっぱい(山本図書館野原まつり)	24	3138	7
		84回	小学校	おはなし会	2520		
		41回	保育園(3園)	おはなし会	514		
		3回	育児サークル	おはなし会	30		
		2回	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	50		
伊賀良	12	6/13	お楽しみ会	森田和美フルーツ演奏、詩の朗読、合唱など	74	564	6
		9/12	お楽しみ会〔公〕	飯伊婦人文庫と名文朗読、わらべ歌を歌う	53		
		11/21	文化祭〔公〕	絵本読みきかせ 等	108		
		11/22	〃	〃	81		
		5回	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	177		
		3回	保育園	読みきかせ、図書館案内など	71		
上 村	9	4/18	おはなしの会		7	162	9
		5/9	おたのしみ会	季節のおやつ作り	20		
		5/27	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ、図書館案内など	14		
		7/4	自然観察会〔公〕	自然観察会、流しそうめん	37		
		8/6	人形劇観劇ツアー〔公〕		16		
		9/5	おたのしみ会	工作(牛乳パックで車をつくろう)	12		
		12/5	おたのしみ会	工作(いとでんわ)	13		
		1/16	おたのしみ会〔公〕	お正月の遊びをしよう	36		
		3/13	おたのしみ会	科学ってどんなこと	7		
南信濃	28	4/17	手芸教室	マスコット	8	420	8
		7/4	おたのしみ会〔公〕	フラワーアレンジメント	30		
		7/29	おたのしみ会〔公〕	つるしかざり	50		
		8/	人形劇観劇ツアー〔公〕		30		
		10/31	ハロウィーン〔公〕		60		
		11/	地区芸術祭		15		
		2/27	おたのしみ会〔公〕	フラワーアレンジメント	15		
		3/20	おたのしみ会〔公〕	神様王国めぐりと春をさがしに	12		
		月1回	乳幼児学級〔公〕	読みきかせ など	100		
		月1回	保育園	読みきかせ など	100		

お楽しみ会 回数 339 回
お楽しみ会 人数 10,252 人

資 料 編

1. 沿革

(1) 中央図書館

- ・明治34年 飯田小学校内に飯田文庫設立。
旧飯田藩主堀家の蔵書を購入。
- ・大正4年11月10日 公立図書館となる。(町立)
- ・昭和6年7月1日 飯田藩連隊区司令部の建物に移る。
- ・昭和13年 書庫新築。
- ・昭和13年2月11日 長野県知事より表彰される。(館の運営宜しきを得、逐年成績みるものあり云々)
- ・昭和23年6月 附設公民館増築。
- ・昭和31年9月30日 近隣7か村と合併し、当館が本館となり、旧7か村の地区に分館を置く。
- ・昭和36年3月31日 川路村合併。川路分館を加え8分館となる。
- ・昭和38年4月1日 飯田市中央公民館内に分室を設ける。
- ・昭和39年3月31日 龍江村・千代村・上久堅村合併・龍江・千代・上久堅を加え11分館となる。
- ・昭和42年11月1日 羽場地区に羽場分室を設ける。
- ・昭和43年4月1日 羽場分室を分館にし、中央・第一・第二公会堂の3か所で貸出をする。(12分館となる)
- ・昭和45年4月1日 飯田市中央公民館内の分室を廃止する。
- ・昭和46年4月1日 丸山分室を分館にし、飯田農協・滝ノ沢集会所の2か所で貸出をする。(13分館となる)
- ・昭和48年6月1日 丸山分館が飯田農協で貸出をしていたが、これを廃し丸山連合自治会集会所(丸山8区旧消防署分署跡)で貸出することになる。
- ・昭和49年2月27日 児童室・婦人文庫室・会議室(新館)竣工。
- ・昭和53年度 モデル分館事業として「児童向け土曜貸出」を、下久堅(5月)、松尾(7月)、龍江(1月)の3館が実施。
- ・昭和54年度 土曜貸出を羽場・千代・伊賀良分館が実施、計6館となる。
- ・昭和54年4月 羽場分館(公民館)完成。
- ・昭和54年10月28日 全面改築移転のため閉館となる。
- ・昭和55年1月8日 飯田文化会館で仮開館開始。
- ・昭和55年1月 飯田市公民館図書室で土曜貸出を始める。(橋南地域へのサービスのため)
- ・昭和55年3月18日 旧図書館を取り壊す。
- ・昭和55年4月 丸山分館(公民館)完成。
- ・昭和56年3月 飯田市公民館図書室での土曜貸出をやめる。
- ・昭和56年5月15日 市立飯田図書館改築完了。
- ・昭和56年7月3日 市立飯田図書館改築完了竣工式。
- ・昭和56年7月5日 市立飯田図書館新館開館。
- ・昭和57年度 座光寺・竜丘・川路・山本土曜貸出実施。
- ・昭和59年4月 千栄で土曜貸出実施。
- ・昭和59年12月1日 鼎町合併、飯田市立鼎図書館となる。
- ・昭和60年4月1日 東野分館(公民館)完成。
- ・昭和60年6月1日 東野分館開館、土曜貸出実施。
- ・平成3年6月15日 本館、ヤングアダルトコーナー開設。
- ・平成5年7月1日 上郷町合併、飯田市立上郷図書館となる。
合併により、市立飯田図書館を飯田市立中央図書館と改称。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成9年2月25日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。(NEC:LiCS-N)
- ・平成10年3月31日 「飯田市立中央図書館漢籍目録」刊行される。

- ・平成 12 年 8 月 「かこさとしの世界」展 開催される。
- ・平成 13 年 2 月 空調施設改修工事着工。同 6 月稼働（繰越明許事業）
- ・平成 15 年 6 月 かこさとし作『だるまちゃん・りんごんちゃん』出版される。
- ・平成 16 年 7 月 22 日 コンピュータシステム更新、稼働。（NEC：LiCS-RIII）
図書館ホームページ開設、インターネット蔵書検索開始。
- ・平成 16 年 9 月 インターネットによる予約受付開始。
- ・平成 17 年 10 月 上村・南信濃村合併、上村分館・南信濃分館となる。
- ・平成 18 年 4 月 20 日 伊賀良学習交流センター竣工、同施設内に伊賀良分館を移転。
- ・平成 18 年 4 月 29 日 中央図書館で祝日開館を本格実施。
- ・平成 18 年 8 月 25 日 ビジネス支援開始。
- ・平成 19 年 1 月 夜間開館試行。
- ・平成 19 年 3 月 10 日 市岡文書及び古書・飯田文書・村沢資料目録を Web 上公開。
- ・平成 19 年 5 月 繰り下げ開館試行。
- ・平成 19 年 9 月 毎週木曜日繰り下げ開館 12:00～20:00 開館実施。
- ・平成 20 年 4 月 毎週木曜日 10:00～20:00 開館実施。

(2) 地域図書館

① 県図書館

- ・明治 43 年 12 月 7 日 開庫式を行い、青年会が管理、運営を行う。
- ・大正 12 年 7 月 26 日 県より私立図書館として認可される。
- ・昭和 25 年 7 月 公民館図書部として運営される。
- ・昭和 35 年 1 月 旧自治警察署跡へ移転して独立の図書館となる。
- ・昭和 38 年 4 月 1 日 司書 1 名を配置して昼間開館を行う。
- ・昭和 54 年 10 月 27 日 旧自治警察署跡へ図書館改築。
- ・昭和 59 年 12 月 1 日 飯田市と合併、飯田市立県分館となる。
- ・昭和 60 年 4 月 1 日 職員 2 名と土・日パート職員を配置して本館と同じ運営を行う。
- ・平成 5 年 7 月 1 日 上郷図書館と同列の飯田市立県図書館となる。
- ・平成 9 年 2 月 25 日 コンピュータシステム稼働による貸出はじまる。
- ・平成 11 年 12 月 21 日 共生のまち推進事業実施（障害者対応施設整備）

② 上郷図書館

- ・大正 11 年 4 月 1 日 上郷青年会は上郷文庫設置を決定。
- ・大正 12 年 10 月 10 日 上郷青年会は小学校の一室を借りて上郷文庫を開館。
- ・昭和 2 年 7 月 18 日 文庫を小学校より信用組合に移転。蔵書 675 冊。
- ・昭和 10 年 11 月 22 日 図書館経営と山林経営の協力が認められ、上郷青年会は文部大臣表彰を受ける。
- ・昭和 11 年 7 月 21 日 下黒田に独立図書館建設、開館式。
- ・昭和 15 年 2 月 11 日 優良図書館として県知事表彰。
- ・昭和 16 年 7 月 12 日 上郷青年会図書館を村立上郷図書館へ移管式。
- ・昭和 21 年 7 月 1 日 図書館の一部を改装、国保直営の上郷診療所を併設。
- ・昭和 25 年 9 月 1 日 診療所は高松病院（現ゆうゆう）の位置に移転。
- ・昭和 31 年 7 月 1 日 図書館へ専任職員を置く。
- ・昭和 37 年 1 月 6 日 全日開館を開始、土・日を除き午前 10 時から午後 5 時まで。専任職員を 1 名増員。
- ・昭和 39 年 11 月 1 日 上郷村民会館落成にて図書館移転、一階の 3 室を占める。旧図書館は公民館下南分館として払い下げる。
- ・昭和 42 年 4 月 1 日 専任図書館長を置く。夜間開館の係として青年会員の奉仕を受ける。
- ・昭和 58 年 10 月 是枝英子著『知恵の樹を育てる-信州上郷図書館物語-』出版される。

- ・昭和60年4月28日 現図書館開館式。5月2日竣工式。総経費2億7千万円。(敷地費含む)
- ・平成5年7月1日 飯田市と合併。飯田市立上郷図書館となる。
- ・平成9年2月25日 コンピューターシステム稼働による貸出はじまる。

(3) 分館

① 座光寺分館

- ・明治36年4月23日 青年団は文庫創立資金を村内より募り、文庫規則をつくる。
- ・明治36年10月1日 文庫を「座光寺文庫」と命名し小学校に設置。開庫式を開く。
- ・明治37年10月10日 「座光寺文庫」を「麻績文庫」と改名。
- ・大正3年 巡回文庫開設。
- ・大正14年 明治27年創立の「女子同窓会文庫」と合併する。
- ・昭和8年11月4日 「麻績文庫」規則を改正する。
- ・昭和14年1月30日 社会情勢に対処し、読書機関の重要性を認め、青年団に図書部を新設し、文庫を改革し、文庫の整理をする。
- ・昭和14年3月11日 国立図書館長・松本喜一氏視察する。
- ・昭和14年3月19日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き文庫の経営及び製本法の指導を受ける。
- ・昭和25年 「麻績文庫」を「座光寺図書館」と改名する。
北部地区5か村(座光寺・上郷・市田・山吹・大島)にて図書館協会をつくる。
- ・昭和31年 青年団は図書館財産を村当局に寄付し、公民館図書部として運営する。
- ・昭和31年9月30日 1市7か村の合併により市立飯田図書館座光寺分館となる。
- ・昭和57年4月 土曜貸出を始める。
- ・昭和60年4月1日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

② 松尾分館

- ・大正12年12月 皇太子成婚記念事業として、従来の青年文庫・児童文庫を統一して村立図書館の設立を計画し、村費300円を計上する。
- ・大正13年1月26日 「村立松尾図書館」開館式を行う。書籍数は児童文庫671冊、普通文庫575冊。以来館長には村長、副館長には小学校長、事務員には小学校教員があたり、図書館は小学校の建物の中にあり、学校にて運営する。
- ・昭和21年 図書館を公民館附属建物に移し、青年会が運営する。
- ・昭和23年4月 図書館が公民館に所属し、公民館図書部にて運営する。
- ・昭和31年9月30日 1市7か村の合併により、飯田市立図書館松尾分館となる。
- ・昭和53年7月 土曜貸出を始める。
- ・平成2年4月14日 公民館の新築に伴い同館内に分館を併設し毎週土曜日、水曜日、第2・第4日曜日に開館する。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

③ 下久堅分館

- ・大正13年4月 下久堅巡回文庫として発足。
- ・昭和4年 当時の青年会が中心となって、小学校内に村立図書館を設立。
- ・昭和12年 村役場へ移転。
- ・昭和16年 小学校へ移転。
- ・昭和23年 下久堅公民館設立と同時に公民館図書部へ移管。
- ・昭和31年9月30日 1市7か村の合併により、飯田市立図書館下久堅分館となる。

- ・昭和44年2月20日 新館落成。(公民館内に併設)開館。
- ・昭和53年4月15日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和53年5月 土曜貸出を始める。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

④ 上久堅分館

- ・昭和25年4月1日 上久堅公民館が設置されると、図書部として発足する。青年団の文化部が管理する。
- ・昭和32年4月1日 公民館図書部が管理する。
- ・昭和39年3月30日 上久堅村は飯田市に合併し、飯田市立図書館上久堅分館となる。
- ・昭和41年11月 上久堅公民館の一室を図書館とする。
- ・昭和56年4月1日 公民館の新築に伴い同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和57年4月 土曜貸出を始める。
- ・平成元年1月 分館の部屋を改築し広める。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成15年5月7日 健康相談室へ図書室を移転。

⑤ 千代分館

- ・明治27年 千代小学校職員及び青年会有志により、千代小学校内に「千代文庫」を創立。
- ・大正2年1月30日 「千代文庫」を千代青年会に管理委託。
- ・大正12年4月1日 御成婚記念として「村立図書館」を設立し、前者を移管。(独立施設としての図書館ではなかった)
- ・昭和12年7月9日 村出身、島岡亮太郎氏の寄贈により木造2階建1棟(4間×6間、階段便所つき)の独立図書館を建築。名称「村立千代図書館」として発足。後、館内に「二宮報徳文庫」「児童文庫」「忠勇文庫」を特設。
- ・昭和14年2月11日 県下優良図書館として県知事表彰を受ける。
- ・昭和23年4月1日 千代公民館が管理にあたる。
- ・昭和39年3月30日 千代村は飯田市に合併し、飯田市立図書館千代分館となる。
- ・昭和52年6月19日 小学校体育館建設のため取り壊し、小学校内の一部を仮分館とする。
- ・昭和54年5月 土曜貸出を始める。
- ・昭和55年4月 基幹集落センターの一室を図書館とし、開館する。
- ・昭和59年4月 千栄で土曜貸出を実施する。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑥ 龍江分館

- ・昭和23年 龍江公民館が設置されると図書部として発足する。図書室を村役場内に置く。
- ・昭和39年3月30日 龍江村は飯田市に合併し、飯田市立図書館龍江分館となる。
- ・昭和39年7月 龍江支所事務室を半分に仕切り、その半分を図書室とする。
- ・昭和54年1月 土曜貸出を始める。
- ・昭和54年 職場団体貸出文庫を始める。
- ・昭和59年3月12日 公民館の新築にともない同建物内に分館を併設し開館する。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑦ 竜丘分館

- ・大正9年9月 青年の手により竜丘小学校内に竜丘文庫を設立し、青年会が管理する。
- ・昭和2年 各部落に独立文庫ができる。竜丘処女会文庫ができる。

- ・昭和 4 年 2 月 1 日 竜丘分庫、処女会文庫を統合して竜丘図書館を設立する。
- ・昭和 12 年 1 月 26 日 村立図書館となる。
- ・昭和 19 年 12 月 20 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏を招き、読書講習会を開く。
- ・昭和 21 年 3 月 マッカーサーの命により軍事関係の図書約 400 冊を廃棄する。
- ・昭和 23 年 公民館が設置され、公民館図書部となる。
- ・昭和 24 年 7 月 旧竜丘電気組合事務所を買収し、図書館に改造する。
- ・昭和 25 年 10 月 24 日 創立 20 周年記念を兼ね開館式を行う。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村合併により、飯田市立図書館竜丘分館となる。
- ・昭和 51 年 4 月 1 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 13 年 5 月 5 日 公民館の新築に伴い同建物内に併設し開館する。
(公民館の中心施設として設置)

⑧ 川路分館

- ・大正 14 年 小学校内に図書室を設置。
- ・昭和 17 年 3 月 村立川路図書室となる。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 川路村は飯田市に合併し、飯田市立図書館川路分館となる。
- ・昭和 36 年 6 月 27 日 大水害にて蔵書が全部水に浸り、廃棄する。
- ・昭和 41 年 4 月 1 日 飯田市役所川路支所の一室を図書館とする。
- ・昭和 57 年 3 月 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し、開館。
- ・昭和 57 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑨ 三穂分館

- ・明治 29 年 三穂親友会創立。
- ・明治 38 年 日露戦争並びに親友会創立 10 周年記念事業として親友文庫を創設。
- ・大正 11 年 親友会文庫を三穂小学校に移管。
- ・大正 15 年 当時すでに誕生していた三穂青年会部落文庫を統合して村立図書館とする。同時に青年会が運営する。
- ・昭和 22 年 5 月 村立図書館を公民館に移管し、公民館図書部として発足する。
- ・昭和 26 年 部落巡回文庫開設。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館三穂分館となる。
- ・昭和 56 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 59 年 1 月 23 日 公民館の新築に伴い、同建物内に分館を開設し開館する。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑩ 山本分館

- ・大正 11 年 各部落の青年会図書をまとめ、役場の 2 階に図書室が設けられる。運営は青年会が当たる。
- ・昭和 2 年 山本小学校校庭の一隅の建物に「山本青年会図書室」を設立する。工費 740 円。
- ・昭和 26 年 山本公民館図書部へ移管。この時、青年学校図書もここへ移して一本化する。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館山本分館となる。
- ・昭和 35 年 7 月 20 日 山本支所の裏手に倉庫を改造し更に増築。ここに図書館を移す。
- ・昭和 49 年 5 月 11 日 公民館を新築し、その一室を図書館分館とする。
- ・昭和 57 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・平成 6 年 4 月 9 日 公民館の新築に伴い、別棟に図書館を併設しオープンする。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑪ 伊賀良分館

- ・昭和 15 年 1 月 15 日 伊賀良青年団新年総会において、図書館の建設を決議。
- ・昭和 15 年 2 月 北方・赤間栄吉氏の建築寄附により公会堂を改造して利用することとなる。敷地として村役場付近大平田所有を買収。
- ・昭和 15 年 2 月 27 日 県立図書館長・乙部泉三郎氏来村し設計指導する。設計者・木下作治氏。
- ・昭和 25 年 1 月 青年団は図書館が狭くなったので新築の計画を立て、資金の積み立てを計画する。以後毎年 5,000 円ないし 10,000 円の積み立てをする。
- ・昭和 27 年 伊賀良公民館図書部となる。ただし、運営は青年団があたる。
- ・昭和 29 年 再び伊賀良青年団図書部となる。
- ・昭和 31 年 9 月 30 日 1 市 7 か村の合併により、飯田市立図書館伊賀良分館となる。
- ・昭和 35 年 新築することに決定、予算 85 万円。
- ・昭和 36 年 3 月 31 日 新築する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 63 年 4 月 9 日 公民館新築に伴い、同建物内に分館を併設し開館する。
- ・昭和 63 年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 18 年 4 月 22 日 伊賀良学習交流センター竣工に伴い、同館内に分館を移転してオープン。
- ・平成 19 年 6 月 開館日を拡大、火曜日と木曜日の午後も開館。

⑫ 羽場分館

- ・昭和 42 年 11 月 1 日 羽場地区に羽場分室を設置。
- ・昭和 43 年 4 月 1 日 羽場分館となり、中央・第 1・第 2 公会堂の 3 か所で貸出をする。
- ・昭和 54 年 3 月 27 日 公民館の新築に伴いその一室を図書館分館とし、中央公会堂は閉鎖する。
- ・昭和 54 年 5 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 4 月 土曜貸出に大人も含める。
- ・平成 元年 4 月 毎週土曜日に加えて毎週水曜日の貸出を始める。
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 10 年 10 月 公会堂の改修に伴い、羽場大休の第一分室を閉鎖する。
- ・平成 12 年 3 月 羽場大通りの第二分室を閉鎖する。

⑬ 丸山分館

- ・昭和 45 年 4 月 1 日 丸山地区に分室を設置、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 46 年 4 月 1 日 丸山分館となり、飯田農協・滝ノ沢集会所の 2 か所で貸出をする。
- ・昭和 48 年 6 月 1 日 飯田農協を廃し、丸山連合自治会集会所で貸出をする。
- ・昭和 49 年 7 月 20 日 丸山公民館の一室にて貸出をする。
- ・昭和 55 年 4 月 丸山公民館（全面改築）完成、図書室にて貸出をする。
- ・昭和 56 年 4 月 土曜貸出を始める。
- ・昭和 58 年 7 月 16 日 丸山連合自治会集会所での貸出を止め、新たに丸山児童館で貸出し、土曜貸出も児童館で行う。
- ・平成 元年 2 月 丸山児童館での貸出を止め、丸山公民館で土曜貸出を始める。
- ・平成 2 年 滝の沢集会所（新築）滝の沢分室
- ・平成 8 年 4 月 1 日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。
- ・平成 15 年 3 月 31 日 滝の沢分室を閉鎖する。

⑭ 東野分館

- ・昭和 60 年 4 月 1 日 東野公民館の 2 階一室に東野分館を設置する。

- ・昭和60年6月1日 開館、土曜貸出を始める。
- ・平成8年4月1日 分館委員制度を廃止し分館奉仕係制をとる。

⑮ 上村分館

- ・平成17年10月1日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館上村分館となる。

⑯ 南信濃分館

- ・平成17年10月1日 飯田市に合併。飯田市立中央図書館南信濃分館となる。
- ・平成18年10月1日 定期開館開始。

(4) 飯田図書館 歴代館長

	氏名	兼務／専任	在任期間
初代	掛川 良平	兼務	大正4.11～昭和6.3
第二代	両隈 喜重	兼務	昭和6.4～昭和13.3
第三代	本堂 順一	兼務	昭和13.4～昭和22.3
第四代	伊藤 兵三	専任	昭和22.7～昭和24.3
第五代	小林 保一(郊人)	専任	昭和25.3～昭和26.9
第六代	本堂 順一	兼務	昭和26.10～昭和27.3
第七代	池元 威男	専任	昭和27.4～昭和31.3
第八代	松澤 太郎	兼務	昭和31.4～昭和39.3
第九代	高堂 正男	兼務	昭和39.4～昭和40.3
第十代	池田 寿一	専任	昭和40.4～昭和51.3
第十一代	林 正敏	専任	昭和51.4～昭和55.3
第十二代	今村 兼義	専任	昭和55.4～平成6.3
第十三代	代田 一行	専任	平成6.4～平成10.3
第十四代	福澤 善紀	専任	平成10.4～平成12.3
第十五代	岡田 昌伸	専任	平成12.4～平成17.3
第十六代	稲吉 憲一	専任	平成17.4～平成18.3
第十七代	仲平 和夫	専任	平成18.4～平成22.3
第十八代	牧内 和人	専任	平成22.4～

2. 施設

(1) 中央図書館 (TEL 0265-22-0706・FAX 0265-22-0235)

- ・敷地 飯田市追手町2丁目677番地3 面積 1,625.47 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート3階建
 建築面積 1,014.28 m² 延床面積 2,507.63 m²

(2) 地域館

県図書館 (TEL 0265-23-9901・FAX 0265-23-9908)

- ・敷地 飯田市鼎中平2246番地 面積 1,117 m²
- ・建物 木造平屋建 268.30 m²

上郷図書館 (TEL 0265-52-2551・FAX 0265-52-2574)

- ・敷地 飯田市上郷黒田442番地1 面積 1,249.83 m²
- ・建物 鉄筋コンクリート2階建
 建築面積 581.89 m² 延床面積 1,117.31 m²

(3) 分館

分館名	独立・併設	面積 (m ²)
座光寺	座光寺公民館内	53.00
松尾	松尾公民館内	101.68
下久堅	下久堅公民館内	78.00
上久堅	上久堅農村環境改善センター内	36.45
千代	千代基幹集落センター内	77.90
	毛呂窪公民館(千栄分室)	
龍江	龍江公民館内	77.49
竜丘	竜丘公民館内	136.80
川路	川路公民館内	49.56
三穂	三穂多目的研修センター内	63.18
山本	山本公民館内	90.72
伊賀良	伊賀良学習交流センター内	299.95
羽場	羽場公民館内	58.59
丸山	丸山公民館内	61.20
東野	東野公民館内	78.00
上村	かみっこ交流館内	162.75
南信濃	南信濃学習交流センター内	40.00
16分館・1分室		合計 1,465.27 m ²

内お話の部屋 28 m²
 内書庫 7.2 m²

(4) コンピュータシステム (平成16年7月22日 新システム導入)

- 新システム: NEC LICSRⅢ (パソコンサーバシステム)
- MARC: TRC MARC Uタイプ (図書館流通センター)

3. 職 員 （平成 22 年 4 月 1 日現在）

(1) 中央図書館

- ・正規職員 9 人（うち司書・司書教諭資格者 6 人）
- ・臨時職員 8 人（うち司書・司書教諭資格者 7 人）
- ・パート職員 4 人が交代勤務（木・土・日雇用）

(2) 県 図書館

- ・正規職員 2 人（司書・司書教諭資格者 2 人）
- ・臨時職員 1 人（司書資格者 1 人）
- ・パート職員 2 人が交代勤務（土・日雇用）

(3) 上郷図書館

- ・正規職員 3 人（司書資格者 3 人）
- ・臨時職員 2 人（司書・司書教諭資格者 2 人）
- ・パート職員 1 人（土・日雇用）

(4) 分館（16 館）

- ・分館長 16 人
- ・分館主事 16 人（公民館主事の兼務）
- ・分館係員
- ・パート職員 90 人が交代勤務（主に水・土・日）

4. 図書館協議会委員 10 名（男性 5 人、女性 5 人）

(1) 設置根拠

図書館法第 15 条・飯田市立図書館条例第五条の規定により図書館協議会を置く

(2) 任期：2 年

(3) 任務：図書館の運営に関し、図書館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行なうサービス業務につき館長に意見を述べる。

(4) 開催回数：年 3 回

(5) 平成 21 年度の主な協議事項

- 第 1 回 6 月 19 日 21 年度運営方針について・議会一般質問での要望事項について
- 第 2 回 11 月 13 日 飯伊図書館広域サービスプロジェクトについて
図書館視察（松川町・高森町図書館）
- 第 3 回 2 月 25 日 県図書館大会について・休館日変更の要望について

(6) 図書館協議会委員

- | | | | |
|-----|---------|------|--------|
| 委員長 | 松島 タセ子 | 副委員長 | 花崎 孝夫 |
| 委員 | 大蔵 和幸 | | 笠井 みゆき |
| | 久保田 賀津男 | | 久保田 雅子 |
| | 下平 光紀 | | 平岩 宏保 |
| | 三石 暁子 | | 山田 安世 |

5. 利用案内

(1) 中央図書館・地域館

- ① 開館時間 午前10時～午後6時
 ※中央図書館は、木曜日(祝日を除く)のみ夜8時まで開館
- ② 休館日 毎週月曜日・毎月第4金曜日・年末年始(12/28～1/4)
 ※祝日は県・上郷図書館のみ休館(中央は月曜以外の祝日は開館)
- ③ 館内閲覧 開館時間内は誰でも自由に閲覧できる
- ④ 館外貸出 飯田・下伊那地区に在住または通学、通勤している方
 ※中央・地域館 1人10冊 分館 1人4冊 貸出期間 2週間

(2) 分館

【伊賀良分館】

火・水・木曜日：午後1時～5時
 土曜日：午前10時～午後5時
 日曜日：午後1時～5時

【松尾・竜丘分館】

水曜日：午後1時～5時
 土曜日：午前10時～午後5時
 日曜日：午後1時～5時

【三穂分館】

水曜日：午前9時30分～11時30分
 午後3時～5時
 土曜日：午前10時～午後5時

【山本分館】

水曜日：午後1時～5時
 ※第1・3のみ午前10～12時も開館
 土曜日：午前9時～午後5時
 日曜日：午後1時～5時

【羽場・丸山・東野・座光寺・下久堅

上久堅・千代・龍江・川路分館】

水曜日：午後1時～5時(川路は2時～・千代は2時30分～)
 土曜日：午前10時～午後5時

【上村分館】

月～金曜日：午後3時～5時
 土曜日：第2・4 午前10時～16時

【南信濃分館】

月～金曜日：午後3時～5時
 土曜日：午前10時～12時

(平成22年3月31日現在)

6. 予 算

(1) 当初予算

(単位：千円)

内 訳	平成22年度当初	平成21年度当初	比 較
飯田市予算総額	41,240,000	39,540,000	1,700,000
10款 教育費	4,357,596	4,047,662	309,934
5項 社会教育費	1,206,376	1,229,319	△ 22,943
1目 社会教育総務費	13,462	10,574	2,888
2目 青少年健全育成費	3,109	3,220	△ 111
3目 文化財保護費	57,549	75,636	△ 18,087
4目 公民館費	329,003	334,311	△ 5,308
5目 図書館費	209,886	207,679	2,207
6目 美術博物館費	274,778	271,743	3,035
7目 文化会館費	244,188	255,003	△ 10,815
8目 歴史研究所費	74,401	71,153	3,248

(2) 平成21年度決算額一覽

(款) 10 教育費 (項) 05 社会教育費 (目) 05 図書館費 ※人件費を除く (単位: 円)

細々目	細 節	中央	鼎	上 郷	分 館	計	20年度決算	前年度対比
図 書 購 入 費	消耗図書費	19,179,398	3,549,981	7,473,054	7,999,795	38,202,228	41,422,596	△ 3,220,368
	備品図書費	616,875		181,965		798,840	673,145	125,695
図 書 館 管 理 運 営 費	臨時職員賃金					21,482,000	22,198,674	△ 716,674
	消耗品費	2,275,368	219,586	349,857	74,189	2,919,000	2,960,812	△ 41,812
	燃料費	178,348	52,756	61,969	142,560	435,633	438,723	△ 3,090
	印刷製本費	71,925			229,388	301,313	260,232	41,081
	光熱水費	4,407,158	378,308	1,427,575	319,240	6,532,281	7,184,302	△ 652,021
	修繕費	417,180	97,440	752,091	135,744	1,402,455	747,652	654,803
	通信運搬費	1,550,318	106,739	146,938	45,212	1,849,207	1,838,219	10,988
	手数料	371,955				371,955	392,740	△ 20,785
	保険料	205,544				205,544	186,604	18,940
	委託料	23,494,380				23,494,380	7,073,690	16,420,690
	使用料 及び賃借料	1,621,145	17,306	52,092	16,380	1,706,923	1,738,866	△ 31,943
	工事費			66,150		66,150	0	66,150
	備品購入費	284,709	67,000	1,921,214	45,150	2,318,073	5,426,400	△ 3,108,327
	負担金 (上郷駐車場)			228,000		228,000	228,000	0
	公課費	17,600				17,600	17,600	0
図 書 館 事 業 費	委員等報酬	83,750			300,800	384,550	391,250	△ 6,700
	賃 金	1,461,500	421,510	412,824	14,503,420	16,799,254	17,275,960	△ 476,706
	報償費					367,443	454,222	△ 86,779
	旅 費					118,830	153,741	△ 34,911
	保険料 (ボランティア)					29,140	24,180	4,960
	委託料等(マイク ロフィルム・CD他)					488,300	882,000	△ 393,700
	負担金 補助及び交付金					70,700	70,700	0
コンピュータシステム運営事業費					3,821,295	7,748,526	△ 3,927,231	
はじめまして絵本事業費					769,335	769,065	270	
ビジネス支援事業費					460,905	539,419	△ 78,514	
施設改修事業費					8,548,470	2,480,000	6,068,470	
計		56,237,153	4,910,626	13,073,729	23,811,878	134,189,804	123,577,318	10,612,486

【20年度】図書環境整備事業(分館書架・蔵書整備) 10,000,000円

【21年度】緊急雇用創出事業(郷土資料保存事業・寄贈資料整理事業) 19,620,000円

地域活性化・経済危機対策臨時交付金(中央図書館耐震診断・改修工事実施設計) 7,318,500円

7. 図書館資料

(1) 平成21年度中の蔵書増加冊数と年度末蔵書数

館名	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘
受入冊数	462	449	441	377	685	489	393	494	342	762
うち子どもの本	233	215	172	135	414	308	213	214	185	264
除籍冊数	407	279	732	684	617	0	0	0	290	275
うち子どもの本	118	19	208	464	289	0	0	0	199	0
蔵書冊数	12,567	12,607	13,144	14,956	21,912	10,235	15,339	13,803	13,297	18,138
うち子どもの本	6,750	7,378	8,653	5,646	15,553	6,728	8,211	8,833	7,961	10,715

館名	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	県	上郷	中央	合計
受入冊数	400	385	499	1,000	322	461	2,948	7,530	13,376	31,815
うち子どもの本	203	227	248	511	219	167	855	1,728	1,741	8,252
除籍冊数	59	0	470	441	0	0	2,059	1,303	8,158	15,774
うち子どもの本	0	0	0	173	0	0	276	104	527	2,377
蔵書冊数	13,397	14,806	19,577	22,839	5,726	7,784	53,549	146,922	308,083	738,681
うち子どもの本	9,861	7,640	8,764	12,885	3,432	3,951	21,257	51,960	65,718	271,896

(2) マイクロフィルム

資料名	巻数	資料名	巻数
南信新聞	112巻	第1線他	1巻
合同新聞	10巻	平沢文書	27巻
南信州	176巻	飯田市広報他	1巻
伊那公報	71巻	下伊那青年他	1巻
信濃大衆新聞	15巻	信州青年他	1巻
信濃時事新聞	20巻	飯田通信	1巻
信州日報	34巻	竜丘時報	1巻
南信日報	23巻	青年史資料 18 地区	71巻
南信タイムズ	2巻	青年運動資料 (金箱)	8巻
飯田日日新聞他	1巻	伊藤大八資料	11巻
週刊下伊那	2巻	上郷青年会資料	2巻
飯田ニュース	3巻	上郷時報	4巻
飯田毎日	4巻	信濃大衆新聞	3巻
飯田の新聞	8巻	その他新聞	5巻
信州音楽新聞他	1巻	飯田文書	13巻
南信時事	11巻	信州日報 S46～H7	66巻
信揚新聞	3巻	※南信州 H17.7～H21.9	26巻
新信州日報	1巻	※信州日報 H8～H21.9	57巻
南信毎日新聞	1巻		
飯田町小史他	1巻	平成 21 年度末累計	798巻

※…平成 21 年度に新たに作製したもの

(3) 視聴覚資料

	紙芝居	ビデオ	DVD	マイクロフィルム	C D	CD-ROM	カセット
中央	1,626	184	115	798	120	5	24
鼎	699	1	26	0	3	0	6
上郷	1,796	7	30	0	292	0	1,001
計	4,121	192	171	798	415	5	1,031

(4) 障害者用資料

21 年度録音図書製作数

	テープタイトル数	テープ本数	C Dタイトル数
中央	35冊	163本	95タイトル

21 年度録音雑誌・新聞製作数

	テープタイトル数	テープ本数
中 央	10	234
鼎	63	507
計	73	741

録音図書蔵書数 平成 21 年 3 月 31 日現在

	タイトル数	テープ本数	C D 枚数
中 央	3, 275	24, 219	488

(5) 受入新聞および雑誌等逐次刊行物 *詳細は図書館ホームページ参照

	新聞継続受入数	雑誌継続受入数
中 央	22 紙	204 誌
鼎	5 紙	67 誌
上 郷	10 紙	81 誌
計	37 紙 (24 種)	352 誌 (259 種)

(6) 特殊コレクション

古文書・文庫・特殊資料

堀家所蔵古書	1,330 点(7,882 冊)	村沢文庫	1,043 点
市岡家所蔵古書	178 点	河竹文庫	71 冊
〃 文書	1,004 点	平沢文書	3,800 点 (歴研)
〃 標本	6 点	飯田文庫	243 点
〃 軸物	6 点	竹村浪の人文庫	1,222 冊
日夏耿之介文庫	9,940 冊	古島文庫	7 5 7 刷
日下部文庫	2,207 冊	宮沢文庫	1,283 冊

※平沢文書については歴史研究所に移管 マイクロフィルムのみ保管

南信新聞・信州合同新聞 (明治 35.1.1～昭和 17.4.30)・信濃時事・信濃大衆新聞・森本資料・伊藤大八関係資料・平沢文庫・小林郊人文庫・正木文庫・横田文子資料・下伊那青年運動史関係資料・木下農業関係資料・筒井文庫・木地師資料・富岡鉄斎資料・「飯田市立中央図書館漢籍目録」資料・松尾亨庵史料・小林正之文庫・沢柳文庫など

◎飯田市立図書館の特殊コレクション解説

1. 堀家所蔵古書

明治 34 年、飯田文庫が飯田藩主堀氏所蔵の和漢書を購入し、飯田図書館の基礎がつけられた。儒教、国史、中国史等がある。その後飯田図書館で収集した貴重資料、太宰春台の著書等も含まれている。和書については国書総目録 (岩波書店刊) に掲載されているため、遠方からの利用者が多い。

2. 市岡家所蔵古書

昭和 25 年、三重県津市 市岡勝太郎氏より飯田関係文書を委託され保管する。江戸時代の伊那谷三代官の一人であった市岡氏は、製糸、元結業の創始者であり、千村役所に勤めた。久々里旅日記や「雲彩寺所蔵古物之図」(写真のみ) 等、博物関係の原資料がある。

3. 村沢文庫

飯田市中心通り村沢武夫氏が、昭和 50 年代から亡くなるまで寄贈し続けた郷土資料類である。「伊那歌道史」の原資料となった歌人の短冊や、飯田藩の資料は貴重である

4. 平沢文書(平成 15 年 7 月飯田市美術博物館へ移管 平成 16 年 3 月県宝に指定後歴史研究所へ移管)

飯田市下久堅北原の庄屋平沢家に所蔵されていた近世文書である。昭和 43 年 10 月平沢清人氏から寄贈された。太閤朱印検地帳等地方文書として全国的にも、系統づけられている文書として貴重である。

5. 飯田文書

飯田町、上飯田村(上飯田村の地図)の近世文書。元和～慶応までの文書で「宿継要書留」等が含まれている。

6. 森本資料

飯田市松尾新井の森本信也氏から昭和 51 年に寄贈された資料。大正、昭和にかけて国民精神作興会の下伊那支部の事務局をしていた森本州平氏が持っていた全国及び伊那谷の政治活動資料で、伊那谷の近代史をひもとく貴重な資料である。

7. 日夏文庫

飯田市名誉市民 日夏耿之介氏の所蔵されていた図書。日夏氏没後、昭和 56 年に図書館に移管された。洋書、和漢籍・雑誌・詩を中心に文学のものが多く。

8. 伊藤大八関係資料

飯田市伊賀良上殿岡出身の伊藤大八に送られた明治時代の政治家の手紙類。伊藤大八は、第 1 回衆議院選挙に自由党に属して当選。党の幹部として活躍した。中江兆民、原 敬等の直筆の手紙がある。

9. 青年運動史関係資料

昭和 34 年「下伊那青年運動史」が発行され、その原資料となった各青年団の会報等が発行と同時に寄贈された。

10. 鉄斎資料

飯田鉄斎愛好会から平成 2 年に寄贈された資料。図書、書、画、拓本がある。

11. 宮沢文庫

飯田へ大学を設立したいという希望を抱いていた、生田村出身の宮沢芳重さんが送り続けてきた図書、雑誌、哲学・数学・天文の図書。

12. 竹村浪の人文庫

講師竹村浪の人が使っていた図書類と講談の台本(生原稿) 641 冊。一般書 581 冊

13. 木下農業関係資料

飯田市高羽町木下誠氏から昭和 57 年に寄贈された農業関係資料。農業に関する県内で発行された農業雑誌、特に園芸に関するものが多い。

14. 日下部文庫【上郷図書館所蔵】

郷土史家日下部新一氏が所蔵していた図書と資料で、遺族から寄贈された。資料は主として著作活動のために収集したものと思われ、スクラップ帳・生原稿を含む。生前寄贈された郷土雑誌も多数。

15. 松澤太郎文庫

平成 20 年 4 月に寄贈された元市長松澤太郎氏の蔵書約 2,200 冊(雑誌含む)。河上肇全集、會津八一の全集と貴重な画集、夏目漱石及び森鷗外の全集など幅広い資料。

16. 高原日記コレクション【伊賀良学習交流センター所蔵】

平成 20 年に寄贈された飯田市山本在住ジャーナリスト故高原富保氏の蔵書 704 冊。すべて作家等の日記のみを集めたコレクション。

17.松尾亨庵史料

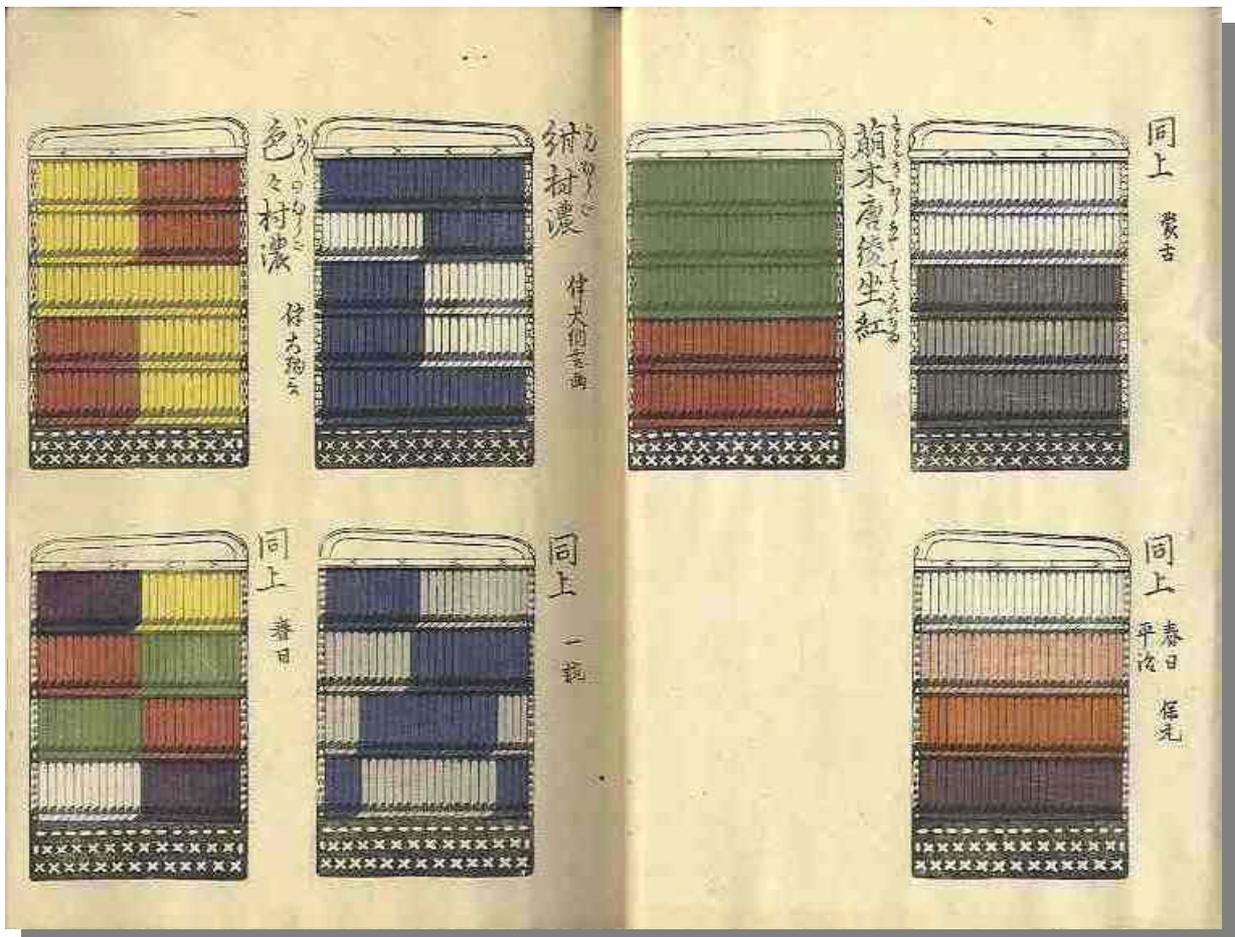
昭和 63 (1988) 年に龍江の松尾家より飯田市立図書館に寄託された、松尾亨庵関係史料。
内容は、医学・漢学漢詩関係刊本、医学・漢学関係手稿、写本、雑書等。

18.清内路煙草資料

清内路煙草を製造し販売した原澤喜之助 (飯田町) 関係の資料や書簡等 657 点を清内路の郷土史家桜井伴氏が収集、昭和 60 年当館に寄贈された。

19.小林正之文庫【上郷図書館所蔵】

竜丘村 (飯田市長野原) 出身の早稲田大学名誉教授 (西洋史学) 小林正之氏の蔵書が没後に寄贈されたもの。歴史・社会科学分野を中心とした図書約 1,300 冊と雑誌約 1,200 冊。



堀家蔵書より『尚古鎧色一覽』

8. 平成21年度貸出状況

(1) 館外貸出館別利用状況

(単位:人・冊)

	羽場	丸山	東野	座光寺	松尾	下久堅	上久堅	千代	龍江	竜丘	川路	三穂	山本	伊賀良	上村	南信濃	分館計	中央	県	上郷	合計	
登録者	人	292	113	117	91	399	251	3	129	114	420	8	127	227	883	3	11	3,188	582	133	251	4,154
	大人	201	83	72	57	219	204	13	97	117	335	7	58	107	507	4	9	2,090	1,544	124	321	4,079
	計	493	196	189	148	618	455	16	226	231	755	15	185	334	1,390	7	20	5,278	(団 体) 20	(団 体) 5	(団 体) 14	39
利用者	人	3,922	934	1,681	1,475	3,399	3,328	888	1,308	1,002	4,302	891	2,646	2,064	7,198	169	751	35,958	18,557	8,693	8,566	71,774
	大人	3,025	973	1,506	1,107	1,974	1,871	690	1,032	1,127	3,686	829	828	1,007	4,458	311	357	24,781	73,458	17,363	24,352	139,954
	計	6,947	1,907	3,187	2,582	5,373	5,199	1,578	2,340	2,129	7,988	1,720	3,474	3,071	11,656	480	1,108	60,739	(団 体) 3,733	(団 体) 850	(団 体) 923	5,506
貸出冊数	冊	9,912	2,901	5,749	4,496	12,467	10,851	2,730	4,148	5,329	17,934	3,627	6,442	8,769	26,884	314	2,658	125,211	106,744	43,018	39,190	314,163
	大人	6,486	2,967	4,668	2,762	6,490	4,976	2,120	2,676	3,437	15,266	2,686	2,543	3,504	15,590	832	1,130	78,133	327,520	77,171	98,358	581,182
	計	16,398	5,868	10,417	7,258	18,957	15,827	4,850	6,824	8,766	33,200	6,313	8,985	12,273	42,474	1,146	3,788	203,344	(団 体) 17,174	(団 体) 7,149	(団 体) 10,512	34,835
																			451,438	127,338	148,060	930,180

(2)貸出年度別統計

(単位 冊)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
中央	336,826	349,536	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438
県	98,008	93,912	96,848	98,510	102,734	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338
上郷	125,626	131,737	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,060
羽場	13,495	13,150	15,228	19,792	20,699	18,154	16,714	17,577	18,918	16,398
丸山	6,608	6,239	7,151	6,809	7,326	8,480	8,761	8,201	7,350	5,868
東野	9,536	12,119	11,434	10,427	9,551	10,065	10,343	9,810	11,531	10,417
座光寺	6,855	7,791	7,956	8,921	8,425	7,886	7,884	7,099	6,624	7,258
松尾	20,855	19,276	23,168	23,397	22,795	20,422	19,291	18,909	19,505	18,957
下久堅	9,585	11,403	14,561	14,998	16,050	13,531	13,766	15,772	15,944	15,827
上久堅	3,515	2,452	2,786	2,473	4,381	3,557	6,526	6,591	4,559	4,850
千代	3,921	3,345	4,059	3,316	3,318	4,847	7,728	6,619	6,097	6,824
龍江	6,517	6,322	11,273	11,800	11,013	11,397	10,449	8,851	9,447	8,766
竜丘	10,269	28,394	29,091	30,362	31,511	30,223	29,428	31,483	30,409	33,200
川路	5,908	5,919	5,533	7,017	7,270	6,596	7,487	6,945	6,666	6,313
三穂	5,130	6,405	8,659	8,965	8,831	9,755	10,485	10,684	10,599	8,985
山本	10,191	11,498	13,992	12,432	9,518	9,403	11,051	11,511	12,471	12,273
伊賀良	25,788	22,374	24,136	23,269	23,478	24,074	37,884	40,420	46,459	42,474
上村							971	1,160	886	1,146
南信濃							2,188	5,363	4,853	3,788
計	698,633	731,872	787,377	805,535	815,396	818,935	860,165	869,970	907,393	930,180

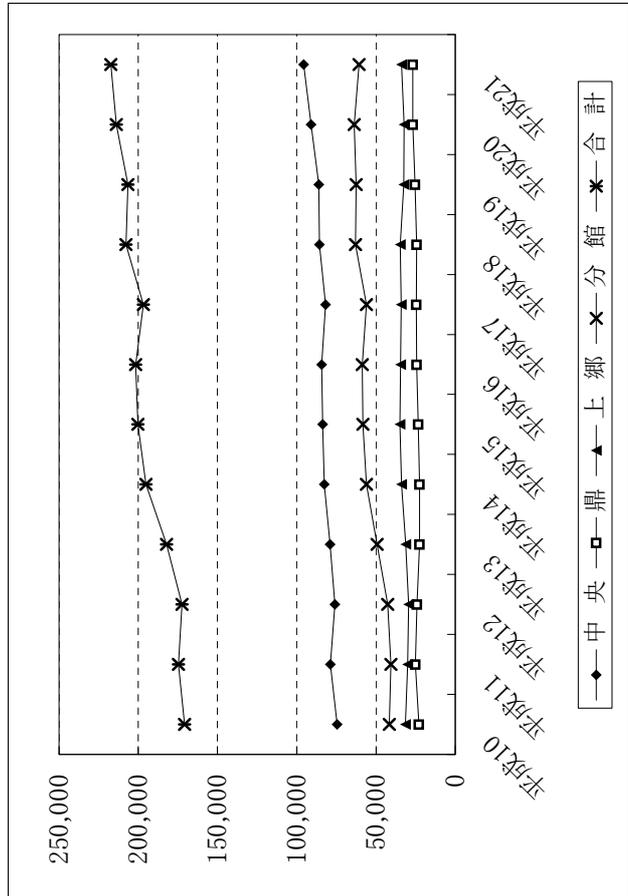
飯田市立図書館利用者（貸出者）数

	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21
中央	74,532	78,827	76,021	78,917	82,675	83,671	84,223	81,942	85,787	86,065	91,024	95,748
鼎	22,975	25,204	24,077	22,561	22,594	23,320	24,361	24,639	24,462	25,364	26,836	26,906
上郷	31,550	30,039	29,520	31,356	33,942	34,935	34,425	34,108	34,684	32,560	32,342	33,922
分館	41,724	40,656	42,728	49,419	55,975	58,387	58,637	56,096	62,908	62,572	63,746	60,739
合計	170,781	174,726	172,346	182,253	195,186	200,313	201,646	196,785	207,841	206,561	213,948	217,315

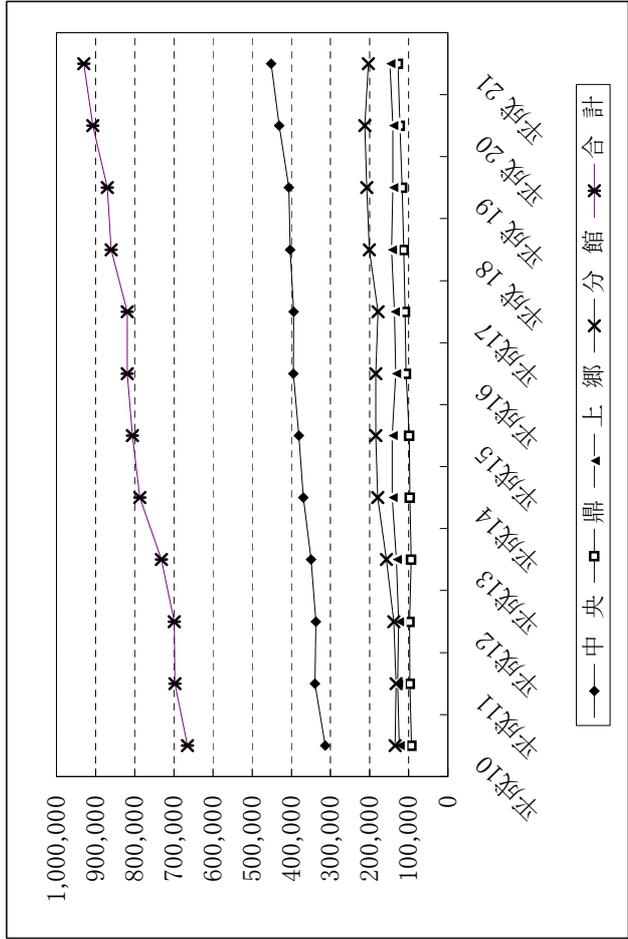
飯田市立図書館貸出冊数

	平成10	平成11	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21
中央	313,230	339,391	336,826	349,536	369,264	380,445	395,003	394,057	403,171	406,133	431,219	451,438
鼎	92,998	96,723	98,008	93,912	96,848	98,510	106,791	109,616	112,260	116,485	122,916	127,338
上郷	123,879	128,304	125,626	131,737	142,238	142,602	133,493	136,872	143,778	140,357	140,940	148,242
分館	135,023	132,561	138,173	156,687	179,027	183,978	184,166	178,390	200,956	206,995	212,318	203,344
合計	665,130	696,979	698,633	731,872	787,377	805,535	819,453	818,935	860,165	869,970	907,393	930,362

利用者数の推移



貸出冊数の推移



(3) 年度別障害者用資料利用状況

①カセット・CD貸出タイトル数

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
中央	4,689	4,093	4,052	3,715	3,128
県	338	371	393	446	507

②相互貸借件数(タイトル数)

	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
中央	469	357	247	314	276

(4) 平成21年度 利用が多かった本ベスト5

	一般書	郷土資料	児童書	絵本
1	『聖女の救済』 東野 圭吾／著	『私たちの飯田市』 飯田市教育委員会／編	『ミッケ!』シリーズ ウォルター・ウィック／作	『はらぺこあおむし』 エリック・カール／作
2	『1Q84 ①・②』 村上 春樹／著	『飯田城ガイドブック』 飯田市美術博物館／編	『かいけつゾロリ』シリーズ 原 ゆたか／作	『かいじゅうたちのいる ところ』 モーリス・センダック／作
3	『悼む人』 天童 荒太／著	『みるよむまなぶ飯田・ 下伊那の歴史』 飯田市歴史研究所／編	『エルマーのぼうけん』 シリーズ ルース・スタイルス・ガネット／作	『あっちゃんあがつく』 さいとう のぶ／作
4	『ガリレオの苦悩』 東野 圭吾／著	『水引のまち飯田』 吉田 忠正／著	『たんたのたんけん』 中川 李枝子／作	『三びきのやぎのがら がらどん』 マーシャ・ブラウン／絵
5	『告白』 湊 かなえ／著	『飯田市の70年』 伊那史学会／編	『新ウォーリーをさがせ!』 マーティン・ハンドフォード／作	『バムとケロ』シリーズ 島田 ゆか／作

(5) 利用統計数値 (サービス指針)

基礎数値 (平成 22 年 3 月末日現在)

A:人口	105,372	G:図書購入費	39,001,068	M:登録者数	33,575
B:蔵書冊数	738,675	H:図書館費	134,189,804	N:職員数	25
C:受入冊数	30,537	I:利用者数	217,315	O:司書有資格者数	21
D:購入冊数	25,497	J:開架図書冊数	512,161	P:複写サービス	22,097
E:個人貸出冊数	895,345	K:調査相談数	5,909	Q:3館総貸出数	726,836
F:除籍冊数	15,774	L:予約件数	36,755	R:全館総貸出数	930,180

開館日数 (中央図書館 291 日 県図書館 284 日 上郷図書館 283 日)

項目		21 年度	20 年度	20 年度全国平均
市民一人あたり蔵書冊数	B/A	7.0 冊	6.6 冊	3.0 冊
〃 受入冊数	C/A	0.3 冊	0.4 冊	0.2 冊
〃 貸出冊数	E/A	8.5 冊	8.3 冊	5.3 冊
〃 図書購入費	G/A	370 円	398 円	210 円
利用者一人 1 回あたりの貸出冊数	E/I	4.1 冊	4.2 冊	
職員一人あたりの貸出冊数	Q/N	29,073 冊	30,221 冊	
蔵書回転率	R/B	125.9%	129.2%	
開架率	J/B	69.3%	72.2%	
利用者登録率	M/A	31.9%	40.3%	
司書率	O/N	84.0%	86.9%	

◆サービス効果

平成 21 年度購入図書平均単価×市民一人あたり貸出冊数－市民一人あたり図書館費

$$G/D \times E/A - H/A = \text{サービス効果}$$

$$1,530 \text{ 円} \times 8.5 \text{ 冊} - 1,273 \text{ 円} = 11,732 \text{ 円}$$

◆年間相互貸借件数

借受図書 1,308 冊 (中央 812 冊 県 319 冊 上郷 177 冊)

貸出図書 1,270 冊 (中央 1,061 冊 県 27 冊 上郷 182 冊)

◆予約件数 36,755 件 (中央 21,912 件 県 8,941 件 上郷 5,902 件)

◆調査相談件数 5,909 件 (中央 3,900 件 県 818 件 上郷 1,191 件)

◆複写サービス 22,097 枚 (中央 19,528 枚 県 417 枚 上郷 2,152 枚)

◆外国語図書貸出冊数 1,450 冊 (中央 1,211 冊 県 49 冊 上郷 190 冊)

9. 図書館関係団体

「飯伊婦人文庫」 (会員数 200 人)

◆飯伊婦人文庫の歴史

昭和 25 年、県立図書館が館外貸出方式の一つとして始めた、本と母親と子どもを通じて結ぶ制度は、その後県下各地に県 P T A 母親文庫として広がっていった。県南部の飯田下伊那地方においても、昭和 32 年飯田図書館を配本所とし、婦人会と P T A の母親を中心に『飯田婦人文庫』・『飯伊母親文庫』の二つの団体が組織され正式に発足した。昭和 46 年 P T A 組織では子どもの卒業とともに会員も離れていってしまうことと、自主的参加による読書会を充実していきたいとの理由から、婦人会を中心とした組織の一本化をはかり、名称も『飯伊婦人文庫』となった。

読書は基本的には個人的な行為であるが、集団だから読める、みんなと一緒に学べるといった環境づくりをめざして、今日まで多くの活動と会員の育成を行ってきた。

◆婦人文庫の活動

昭和 32 年の発足当時より 3 本の柱を活動の中心に据えてきた。その 3 本の柱とは『読むこと』（図書の配本・読書）、『書くこと』（文集づくり）、『話し合うこと』（読書会）である。これは他の県下組織には見られない大変特徴的な活動であり、婦人文庫の活動を、単に本を読むという行為だけに終わらせず、読書を通して女性の自立をめざしていくための活動と位置づけたことによるものである。この成果は毎年発行される『読書についての文集』や、各種読書会、近年活発化してきた他団体との交流などに現れてきている。これらの活動が評価され平成 4 年には飯田ムトス賞を、平成 10 年には野間読書推進賞を受賞した。

平成 9 年に出版した『みんなで読もう飯伊婦人文庫 40 年の歴史』に続き、14 年 2 月には『つながりー聞き書き・70 人の女性に聞く読書と人生とー』を出版した。婦人文庫の歩んできた道を、多くの資料をもとにまとめた前作は飯田図書館の図書館史にもなっており、婦人文庫に生きた人々の個々の歴史を資料化した今回の作品は、人におけることばの獲得といった、読書の本質にせまる多くの示唆を含むものとなった。平成 14 年度には『つながり』の波及効果として、中学校、高齢者学級などより招聘があり、被調査対象者が生の声で体験を語りかけるという活動が展開された。15 年度においても二つの中学から招かれ、読書と人の歴史について語った。これらの活動が図書館まつりにおける、『中学生との読書会』に結実し、『高校生との読書会』へと発展していった。予想以上の多くの参加をみる中で、そこでの発言の数々は参加者へ新鮮な驚きを与えた。

飯田下伊那の各地で連綿と続けられて来た読書会を丹念に聞き取り調査し、三人以上で読むことが人と人のつながりのより深め、質の高い感動を受けとりそれが生きる糧となってきたことを実証したのが、平成 19 年 6 月に発行した『みんなとだから読めた～聞き書きによる飯田下伊那地方の読書会の歴史～』である。本書で“集団でする読書”の素晴らしさが如実に語られ、読書界に大きな波紋を投げかけ、飯田市歴史研究所の歴研賞奨励賞を受賞。

最近では、念願であった、飯田下伊那の読書会交流会や文学連続講座を此処 3 年連続で開催し、一般市民の中に、読書の種をまき、育つよう重点的に取り組んでいる。

読書活動における自分と他者を常に客観的に見つめ、生涯を読書とともに歩む婦人文庫である。

朗読奉仕の会「声の輪」 (会員数 84 人)

視覚障害者の方々へ希望の書籍をテープ、CDに録音した「声の本」を作成しているボランティアグループ。昭和 57 年より朗読奉仕ボランティアが中央図書館に立ち上がった。一年間の朗読初心者講習を終了した後、朗読ボランティアとして続けていただける方に随時加わっていただく。飯田下伊那には約 1,000 人の視覚障害者がおり、内約 100 人の方が「声の本」を利用している。その方々の期待に応えるべくテープ図書を作成を中心に以下の活動を行っている。

「声の本」の作成：〔テープ図書、CD 図書の作成。年間約 200 タイトルの作品を作成し現在までに 2,000 タイトルを超えている。CD 図書も平成 11 年より取り組みが始められ、現在までに 300 余タイトルが出来上がっている。〕

月刊テープの作成と貸出：〔視覚障害者と会員との情報交換誌として毎月「声の輪だより」のテープ（46 分 1 巻）を作成し、約 70 人の方に郵送による貸出を行っている。〕

利用者との交流会：〔利用者との意見交換会と相互親睦をはかるための交流忘年会を毎年開催している〕。

朗読技術向上：（定例学習会（毎月第 4 水曜日、第 2 木曜日）の実施と NHK セミナーへの参加と、常に技術向上のための取り組みを行っている。）

質の高い声の本の作成と提供は、声の輪の方々の技術向上へのたゆまぬ努力と、リクエストに対する迅速な対応によって支えられている。また、単に読み手と聞き手の関係だけではなく、視覚障害者の方々の心の支えとなっている。図書館障害者サービスを 25 年以上にわたり支えてきた声の輪は、飯田図書館が県下に誇れるボランティアグループである。

「文章講座」(文章講座同窓会) (会員数 同窓会 65 人)

「文章を書くことと読書することとは深いつながりがある。読みを深めるには書くことは欠かせない。また文章を綴るには多くの本を読むことにもなる。読書会があるのだから文章を書く勉強会も必要ではないか」とのかねてからの願いから“書くことの勉強会”を昭和 57 年 1 月開講した。

まず、第 1 期は新聞社の論説委員をしていた小原謙一氏を講師に迎え、文章についての講義及び作文の添削を中心に行われた。百余名の受講生は毎回レポートを提出し、講師の添削・講評を受け、さらに受講生の作文の中から講義のテキストとして取りあげた作品が地元紙に掲載されるなど活動が定着していった。受講者数も今までに 700 名を超えている。平成 9 年より清水貫司氏を講師に迎え、現在第 28 期として活動中である。

◆文章講座同窓会

文章講座受講者は講座終了後も各期ごと自主的なグループをつくり、書くことの相互学習を続けている。このグループをまとめたものを同窓会といい、この同窓会が主体的に取り組んで編集・発行している作品集として『くらしの中から』がある。

「子どもの本研究会」

(会員数 22 人)

昭和 45 年から東京、大阪で開催された「日本子どもの本研究会」主催の全国児童文化講座がきっかけとなり、子どもの読書への取り組みに触発された当時の図書館職員が中心となって、学校の読書教育担当者などの協力を得て 47 年 7 月に発会された。当時会費 30 円で会の名称も「飯伊子どもの本研究会」とし、学校や保育園・幼稚園の先生、母親など 60 名の会員によってスタートした。読書についての横のつながりができたのはこの時が初めてで、当時としては画期的なことであった。

子どもに本を手渡したいとの願いは、各地に文庫の設立をうながすきっかけとなり、その後、23 もの文庫が市内にできた。文庫の活動はやがて図書館の分館整備の動きへとつながっていった。また、作品研究、作家研究はやがて作家本人から話を聞いてみたいという欲求を生み、子どもたちが本と出会うにはまず周りの大人が本の素晴らしさを知ることが大切、との思いから「子どもの本の学校」が図書館・子どもの本研究会・地域文庫連絡会共催で開設された。

地域の児童文化にも貢献してきた。子どものための総合文化祭をとの願いから、「飯田子ども劇場」や市の社会教育課とともに立ち上げた「飯田子どもまつり」は、現在まで 30 回以上、回数を重ねながら続けられている。

現在、会の規模は縮小しているが、会員の自ら学ぶ姿勢と子どもの本に対する会員相互の取り組みは変わっていない。その時代時代の中で、地域の読書文化を向上させようと図書館とともに歩んできた。それらの活動は外部からも高く評価され、15 年 4 月には文部科学大臣賞を受賞し、会員相互の大きな励みとなった。

また、平成 11 年 5 月より新たな一歩として、会員有志により読みきかせのボランティア活動を開始し、そのための勉強会も行なっている。一年間の活動記録としての文集作成を行ったり、子どもの本についての講演会を会独自で年に数回開催し、会の活動の充実や地域の読書普及に努めている。

「読みきかせボランティアの会」

(会員数 8 グループ 92 人)

平成 13・14 年度の 2 回、図書館の事業で読みきかせボランティア養成のための講習会を行った。その後平成 15 年 7 月に図書館の呼びかけにより、市内で読みきかせボランティア活動を行っているグループと講習会の受講者が立ち上げたグループとで「読みきかせボランティアの会」を発足した。子どもと一緒に絵本の世界を楽しみたい、子どもと本との橋渡しのお手伝いをしたいと願う読みきかせボランティアグループの集まりであるこの会は、他グループとの情報交換をしたり、研修会を行ったりしている。現在の登録グループは、「読みきかせグループ おはなしのたまご」「下久堅おはなしサークル」「まじっくぼけっと」「丸山おはなしの会」「モン・クール」「おはなしくらぶ おおきな木」「はっぴい・ぷれぜんと」「松尾小学校 読書ボランティア おはなしひろば」の 8 グループである。

なお図書館では、ひとりでも多くの子どもたちに読書の楽しさを知ってもらうために、この会に登録しているボランティアグループのリストを作成し、要請に応じて紹介している。

「おむすびの会」(手づくり絵本の会)

(会員数 15 人)

1981 年(昭和 56 年)夏、我が子の成長記録やつぶやきを書きとめておきたい、また自分自身の絵本を作りたい…との願いから、母親たちが図書館の協力を得て「飯田手づくり絵本の会」を立ち上げた。10 年後に心を込めてにぎるぬくもりあるおむすびにあやかって、「おむすびの会」と名称を変えた。

県内各地の手づくり絵本の会が、共に成長することを願い、横のつながりを持とうと長野県内連絡会を発足させ、その後愛知県、岐阜県へと広がり、現在では 19 の手づくり絵本の会が三県連絡会として活動している。その大きな事業の一つである「手づくり絵本巡回展」も 25 回を数え、今年も 15 会場に 200 冊以上の手作り絵本が展示される。一冊一冊手にとって読むことのできる巡回展は、手づくり絵本に直に触れてもらう大変良い機会である。

また、各地区の乳幼児・母親・高齢者学級や、小・中・高校などでも、手づくり絵本の普及に努めている。製本の方法や、表現の技法、作るための心構えやテーマの持ち方など指導に出向くことが増えている。もっと多くの人たちに世界に一冊だけの手づくり絵本の良さを知ってもらいたいと活動している。今後も子どものため、自分自身のために手づくり絵本を作りたいという方々の輪を広げていきたい。

「紅まんさく」(飯田創作童話の会)

(会員数 11 人)

1983 年(昭和 58 年)3 月に中央図書館の講座の一つとして発足した創作童話研究会が当会の前身である。その当時開講されていた「子どもの本の学校」(著名童話作家の講演・講義)で学ぶと共に、自分でも童話を書いてみたいと希望する 80 人余が集まり始められた。

しかし、回を重ねるごとに書くことの難しさから、40 人・・20 人・・と減少し、自主運営するころには 15 人ほどになっていた。会の名称も《紅まんさく》(飯田創作童話の会)と改め、現在にいたっている。

発足後 8 年目に『紅まんさく、童話集 1』を 16 年目に『同 2』を出版した。毎月第 3 木曜日に例会を持ち、作品を発表しあっている。——作品には厳しく、人にはやさしく——をモットーとし、刺激し合いながらもよい仲間作りを実践している。

発足 27 年目にあたる今年 3 月に『紅まんさく、童話集 3』が出版された。